ダビング前のご案内

Q:どのディスクを選んでいいかわからない!

A:流れに従って、目的にあったディスクを選んでください（110ページ）。

Q:長時間の録画番組を1枚のディスクにダビングしたい!

A:ダビングモードの選択（113、114ページ）で、「レート変換FR」を選びます。

「レート変換ダビング（FR）」を選ぶと、1枚に収まるダビングモードが自動的に選択されます（112ページ）。

Q:長時間の録画番組の画質を落とさずダビングしたい!

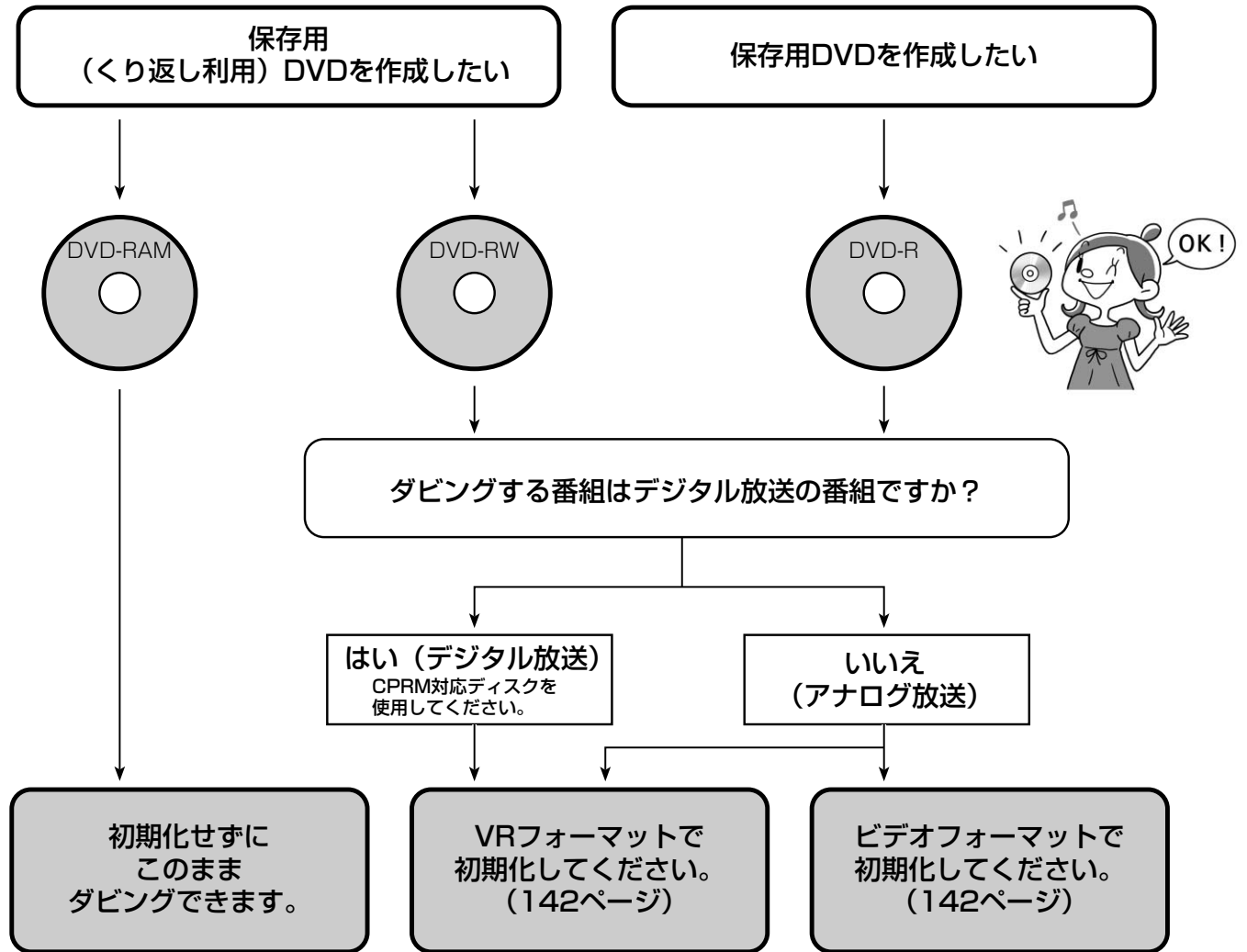
A:あらかじめ番組を分割してから（125ページ）ダビングします。

Q:気に入った場面だけを編集して保存したい!

A:プレイリストを作成してから（134ページ）ダビングします。

ダビング先ディスクの選びかた

HDDに録画した番組をDVDにダビングする場合、以下の流れに従って、ダビング前に使用するディスクと記録フォーマットの種類をあらかじめ確認してください。

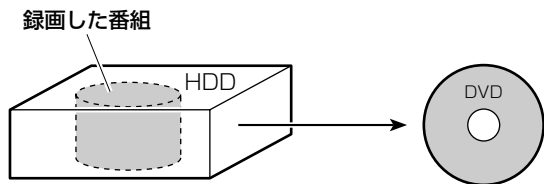
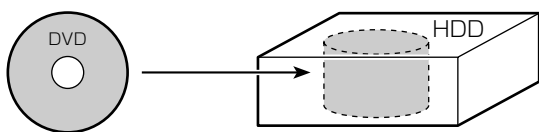
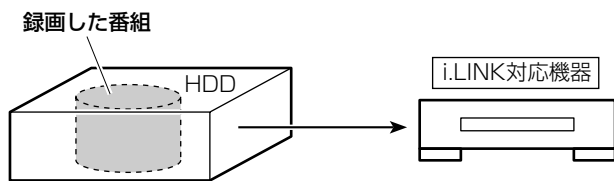
●**デジタル放送の録画番組をダビングする場合、CPRM対応ディスクを使用してください。**

お知らせ

● 各ディスクの詳細については、「本機で使用できるディスク」（12ページ）、「本機でできること」（13ページ）をご覧ください。

録画した番組をダビングする

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

本機のHDDやDVDに録画した番組を、DVDやHDD、およびi.LINK接続した機器（DV-DH1000D/500D）にダビングすることができます。

HDDからのダビングは…

DVDからのダビングは…

i.LINK対応機器へのダビングは…

「1回だけ録画可能」な番組をダビングすると

「1回だけ録画可能」な番組（主にデジタル放送）をダビングすると「移動（ムーブ）」となり、ダビング元の番組は再生およびもとに戻せない状態でゴミ箱に移動されます。* HDDの残量を増やすにはゴミ箱から消去してください（123ページ）。

＊ ゴミ箱画面内に赤い文字で「このメッセージを選択して、他の番組と同じように消去してください　残量が増えます」と表示されます。

ダビングについて

ダビング方向およびダビングモードは以下のようになります。

ダビング元 ＼ ダビング先		HDD		DVD		i.LINK機器*
		高速	レート変換	高速	レート変換	等速
HDD	TSモード	−	−	−	○	○
	XP、SP、LP、EPモード	−	−	○	○	−
DVD	VRフォーマット	○	○	−	−	−
	ビデオフォーマット（ファイナライズ前）	−	○	−	−	−
	ビデオフォーマット（ファイナライズ後）	−	−	−	−	−

＊DV-DH1000D/500D

■高速ダビングについて

高速ダビングとは、画質を落とさずに高速でダビングすることができる録画モードです。ただし、「TS」モードで録画した番組は、高速ダビングできません。

高速ダビングの所要時間は、ダビングする番組の録画モードやディスクの種類によって異なります。約1時間の番組をダビングするときの所要時間の目安は以下のとおりです。

録画モード ＼ ディスクの種類	DVD-RAM（5倍速対応）	DVD-RW（6倍速対応）	DVD-R（8倍速対応）	DVD-R（16倍速対応）
XP	約11分30秒	約10分30秒	約8分	約6分
SP	約6分	約5分30秒	約4分	約3分30秒
LP	約3分30秒	約3分	約2分	約2分
EP	約2分30秒	約2分30秒	約1分30秒	約1分

お知らせ

- 実際のダビング時間は、ディスクの状態やダビングする内容によって異なります。
- 録画時間の短い番組は、所要時間の目安よりダビング時間が長くなることがあります。
- 記録されている内容によっては、高速ダビングできない場合があります。
- ディスクに記録できる時間よりも長い番組は、高速ダビングできません。
- 他の製品で録画したVRフォーマットのDVDディスクを本機のHDDに高速ダビングした場合、高速ダビングした番組やその番組を含むプレイリストをVFフォーマットのDVD-RWやDVD-Rに高速ダビングすることはできません。
- ダビングした番組はいいとこ観再生ができません。

■ハイビジョン映像をDVDに移動（ムーブ）する

- TSモードで録画した番組の場合、DVDに移動（ムーブ）するには、レート変換ダビングしてください。
- ハイビジョン画質のままHDDにも残し、DVDにもレート変換ダビングするには、同じ番組を「レコーダー1」（XP、SP、LP、EPモード）と「レコーダー2」（TSモード）で同時に録画してください。録画が終わってから、レコーダー1で録画した番組（XP、SP、LP、EPモード）をDVDにダビングしてください。

■「TS」モードやDVDに入りきらない番組をダビングする（レート変換ダビング）

レート変換ダビングとは、録画モードを変更してダビングできる録画モードです。長時間の番組をDVDにダビングするときなどに便利です。また、「TS」モードで録画した番組をDVDにダビングする場合、レート変換ダビングする必要があります。

レート変換ダビングでは、通常の「XP」、「SP」、「LP」、「EP」モードの他に、「FR」モードがあります。「FR」モードはHDDからDVDへダビングするときのみ選択でき、ダビングする番組およびプレイリストが1枚のディスクに収まるように本機が自動的に画質を調節する便利なモードです。（「XP」「SP」「LP」「EP」モードのそれぞれの間の画質に調節される場合もあります。）

レート変換ダビングの所用時間は、ダビング元の番組の再生時間と同じ時間になります（等速）。

お知らせ

- 「FR」モードでDVDへダビングする場合、DVDの残量が少ないほど画質が低下します。例えば、空のDVDへ3時間の番組を「FR」モードでダビングする場合、「SP」（2時間モード）と「LP」（4時間モード）の中間くらいの画質になります。
- レート変換ダビング中は、レコーダー1(R1)の予約録画の開始時刻になっても予約録画は実行されません。レコーダー2(R2)の予約録画は実行されます。
- プロテクトされた録画番組はダビングできません。ダビングする場合は、プロテクトを解除してください（140ページ）。
- 「FR」モードでダビングする場合、番組の内容により、DVDディスクの容量が残る場合があります。

■コピー制御信号について

デジタル放送には著作権保護のために、コピー制御信号が付いています。コピー制御信号が「録画可能」の番組は、無制限でダビングできます。コピー制御信号が「1回だけ録画可能」（111ページ）の録画番組をDVDにダビングすると、ダビング元のHDDから録画番組が消去されます。これを移動（ムーブ）といいます。

お知らせ

- 「1回だけ録画可能」の録画番組をDVDへ移動（ムーブ）中にダビングを中断した場合は、元の状態に戻ります。
- ビデオフォーマットのDVD-RWおよびDVD-Rに「1回だけ録画可能」の録画番組を移動（ムーブ）させることはできません。
- DVDに録画された「1回だけ録画可能」の録画番組は、HDDにダビングできません。

不要な部分を除いてムーブ・ダビングするには

- TSモードで録画した番組の場合、不要な部分の前後にチャプターを設定し（127ページ）、不要な部分をスキップ設定（129ページ）してからダビングすると、不要な部分を除いてムーブ・ダビングできます。
- XP/SP/LP/EPモードで録画したデジタル放送（1回だけ録画可能）番組の場合、不要な部分を部分消去（131ページ）してからダビングすると、不要な部分を除いてムーブ・ダビングできます。
- XP/SP/LP/EPモードで録画したアナログ放送またはコピーフリー番組の場合、不要な部分を除いたプレイリストを作成（134ページ）してから、そのプレイリストをダビングすると不要な部分を除いてダビングできます。

他のi.LINK機器からムーブ・ダビングするには

- 日立HDDレコーダー内蔵ハイビジョンテレビ、ハイビジョンHDD/DVDレコーダーの一部の機種から、ムーブ・ダビングできます。対応機器、およびムーブ・ダビングの手順については、50～51ページをご覧ください。

日立DVDカメラで撮影したディスクをダビングする

日立DVDカメラで撮影したディスクから本機のHDDへダビングし、さらに本機で他の12cmDVDディスクへダビングすることができます。
ダビング方向によるダビングの種類とダビング後のチャプターの設定は以下のとおりです。

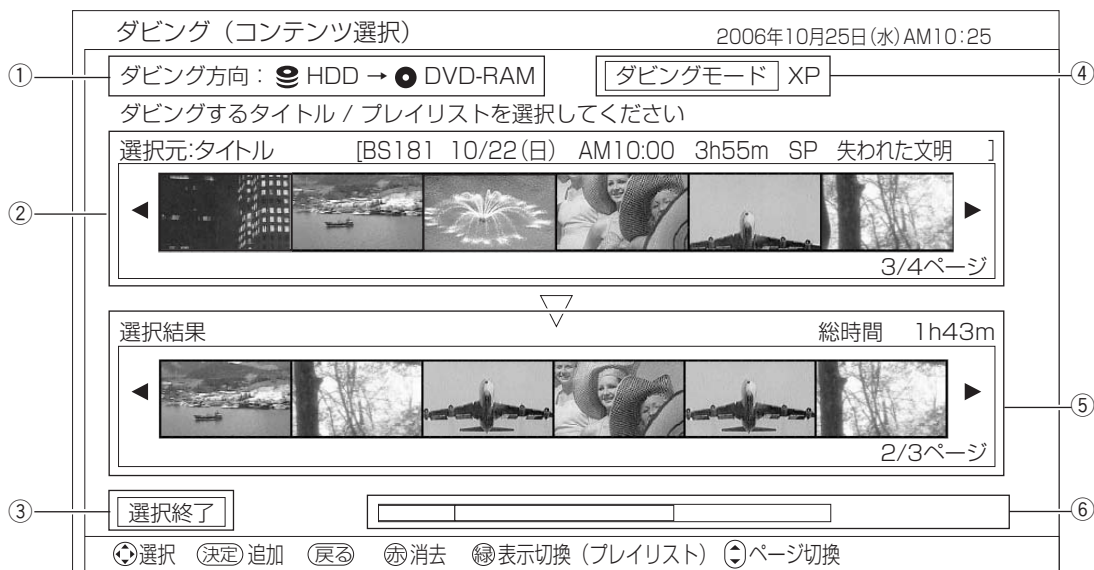
ダビング元（DVDカメラの8cmディスク）	DVDカメラ→本機のHDD	本機のHDD→本機のDVD（ダビング先DVDの種類）		ダビング後のチャプターの設定
		DVD-RAM DVD-RW(VR) DVD-R(VR)	DVD-RW(VF) DVD-R(VF)	
DVD-RAM	高速／レート変換ダビングできます	高速／レート変換ダビングできます	レート変換ダビングできます	元のまま
DVD-RW（VR）	高速／レート変換ダビングできます	高速／レート変換ダビングできます	レート変換ダビングできます	元のまま
DVD-RW（VF）（未ファイナライズ）	レート変換ダビングできます	高速／レート変換ダビングできます	レート変換ダビングできます	すべて消去
DVD-R（未ファイナライズ）	レート変換ダビングできます	高速／レート変換ダビングできます	レート変換ダビングできます	すべて消去
DVD-RW（VF）（ファイナライズ済み）	ダビングできません	–	–	–
DVD-R（ファイナライズ済み）	ダビングできません	–	–	–

- DVD-RAM/DVD-RW(VR)で撮影したものは、高速ダビングでHDDにダビングできます。さらに、HDDにダビングした内容を本機で別の12cmDVD-RAM／12cmDVD-RW(VR)／12cmDVD-R(VR)に高速ダビングできます。
- DVD-RW(VR未ファイナライズ)/DVD-R(未ファイナライズ)で撮影したものは、レート変換ダビングでHDDにダビングできます(高速ダビングはできません)。
- ファイナライズしたDVD-RW(VF)/DVD-Rディスクは、本機のHDDにダビングできません。
- DVD-RAM/DVD-RW(VR)で撮影したシーンを本機のHDDに高速ダビングした場合、カメラでの録画モード(XTRA/FINE/STD)は、ディスクナビゲーションで「--」と表示されます。再生時の表示窓の録画モードも正しく表示されません。
- 高速ダビングの場合、カメラで撮影したシーンのつなぎ目は、本機ではチャプターとして表示できます。ディスクナビゲーションには SKIP が表示されます。

ダビングする（コンテンツ選択画面）

番組およびプレイリストをダビングすることができます。

●HDDからDVDにダビングするときは、ダビングする前に必ずDVDディスクをフォーマットしてください（142ページ）。
●DVDからHDDにダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されているDVDディスクをディスクトレイに入れてください。

コンテンツ選択画面

① **ダビング方向表示**
選んだダビング方向が表示されます。

② **選択元**
ダビング元に録画されている番組（タイトル）またはプレイリストが一覧で表示されます。ここからダビングする番組またはプレイリストを選びます。

［カーソル◀▶］または［チャンネル△▽］を押すと、一覧表示が切り換わります。

［黄］を押すたびに、番組（タイトル）とプレイリストが交互に切り換わります。

③ **選択終了ボタン**
ダビングする番組およびプレイリストの選択が終了したら選びます。

④ **ダビングモード**
選んだダビングモードが表示されます。

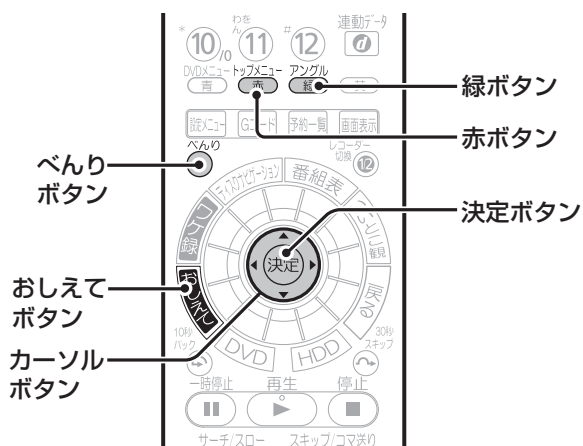
⑤ **選択結果**
選択元で選んだ番組およびプレイリストが一覧で表示されます。右上にはダビングする番組およびプレイリストの総録画時間が表示されます。

※ダビングする番組およびプレイリストの順番を並べかえても、ダビングした後の順番は、以下の順になります。
- HDD→DVD：ディスクに記録した順
- DVD→HDD：録画日時の新しい順

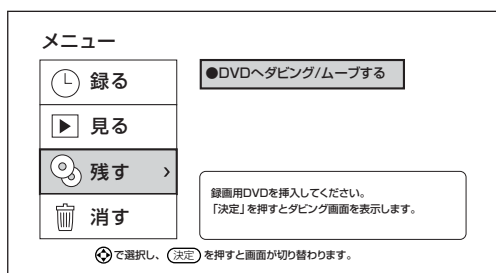
⑥ **ディスク容量表示**
ダビング先ディスクの容量がバーで表示されます。右側にはダビング先ディスクの残りの録画時間が表示されます。

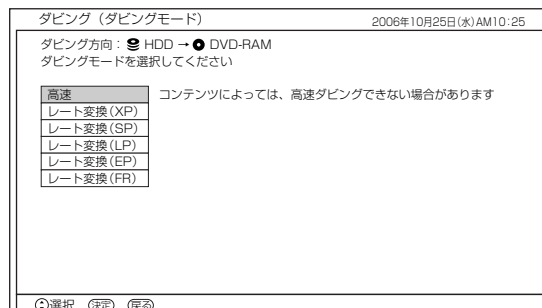
バーに表示される色には以下のような意味があります。

緑　　　：ダビングする番組およびプレイリストの総容量
オレンジ：現在選択元で選んでいる番組およびプレイリストの容量
グレー　：すでにダビング先ディスクに記録されている番組およびプレイリストの容量
赤　　　：ダビング元の番組およびプレイリストの容量がダビング先ディスクの容量を超えている

HDDに録画した番組をDVDにダビングする（HDD→DVD）

1 本機にフォーマット済みのDVDをセットする

2 ［おしえてボタン］を押す

3 ［カーソル▲▼］で「残す」を選び［決定］を押し、「DVDへダビング/ムーブする」を選び、［決定］を押す

- ダビング画面は、べんりメニューからも表示できます（42ページ）。

4 ［カーソル▲▼］でダビングモードを選び、［決定］を押す

コンテンツの選択画面が表示されます。

- ダビングモードの詳細については、「ダビングについて」（111ページ）をご覧ください。

5 ［カーソル◀▶］でダビングしたい番組またはプレイリストを選び、［決定］を2回押す

選択結果欄に番組またはプレイリストが表示されます。

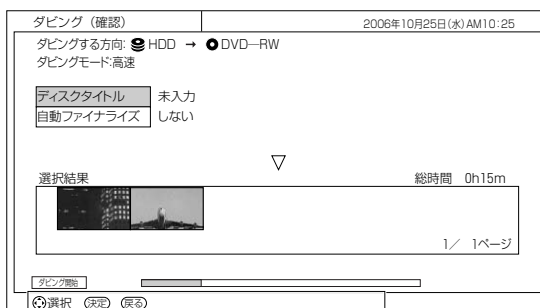
- ［緑／アングル］を押すたびに、番組一覧とプレイリスト一覧が切り換わります。
- 左右に「◀/▶」が表示されているときは、［カーソル◀▶］を押して、一覧表示を前後に切り換えることができます。
- ワケ録ナビのべんりメニューからダビングする場合は、画面上部の「選択元」に、ワケ録ナビで選んだサブフォルダに分類されている番組だけが表示されます。
- 選んだ番組およびプレイリストを取り消すには、［カーソル▼］を押して選択結果欄にカーソルを移動させてから、［カーソル◀▶］で取り消したい番組またはプレイリストを選び、［赤／トップメニュー］を押します。
- ムーブ が表示されている番組は、移動（ムーブ）します。

残す・消す

6 ［カーソル▲▼］で「選択終了」を選び、［決定］を押す

ダビングの確認画面が表示されます。

7 ［カーソル▲▼］で「ディスクタイトル」を選び、［決定］を押す

文字入力パッドが表示されます。

8 ディスクのタイトルを入力する

DVDディスクにタイトルが登録されます。

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

9 ［カーソル▲▼］で「自動ファイナライズ」を選び、［決定］を押す

設定項目	内　容
する	ダビング終了後に自動的にDVDディスクをファイナライズします。ファイナライズすると他のDVDプレーヤーなどで再生できるようになります。
しない	ダビングを終了してもDVDディスクをファイナライズしません。引き続き本機で編集することができます。

- ［決定］を押すたびに、「する」／「しない」が切り換わります。
- DVD-RAMをお使いの場合は、表示されません。

10 ［カーソル▲▼］で「ダビング開始」を選び、［決定］を押す

ダビング開始の確認メッセージが表示されます。

11 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

選んだ番組およびプレイリストがダビングされます。

- 高速ダビングのとき、画面はテレビ放送に戻ります。
- レート変換ダビングのとき、画面は選んだ番組の再生画になります。テレビ放送に切り換えることはできません。
- ダビングを開始して画面に映像が映るまで数秒かかることがあります。

■ ダビングを途中で停止するには

［べんり］を押して、［カーソル◀▶］でべんりメニューの2ページ目に切り換えて、［カーソル▲▼］で「ダビング中止」を選んでください。

■ チャプターが設定されている番組（XP、SP、LP、EPモード）を高速ダビングした場合

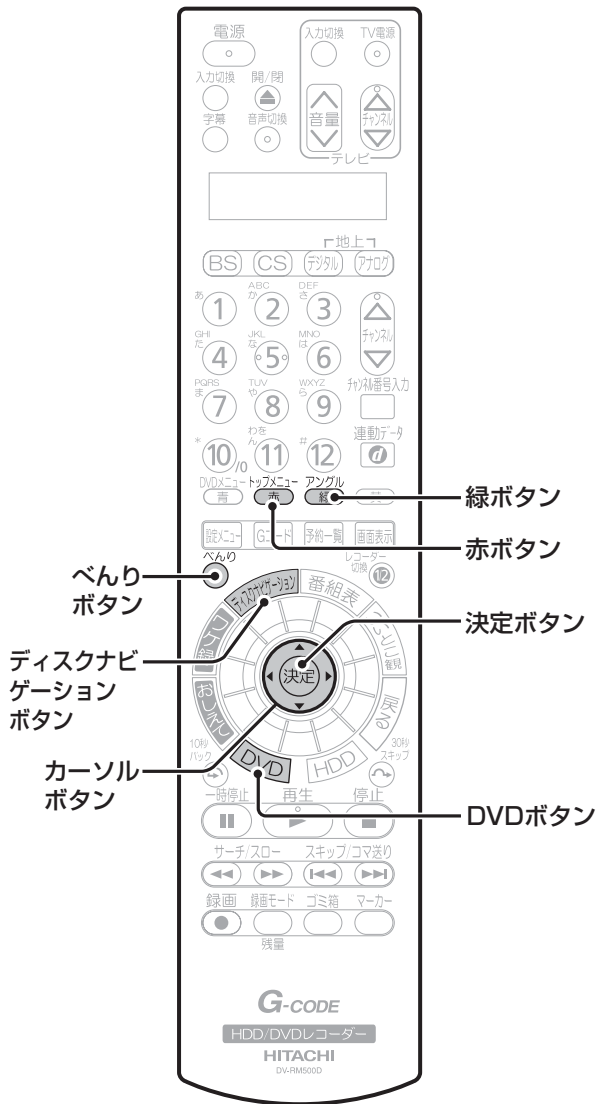
DVDにダビングした後も、元のままチャプターが設定されています。

ただし、レート変換ダビングの場合は、DVDディスクのフォーマット形式により、以下の設定に変わります。

・VRフォーマット　　：すべてのチャプター設定が消去されます。

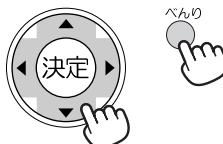
・ビデオフォーマット：約5分おきにチャプターが設定されます。（番組の録画モードなどにより設定間隔は変わります。）

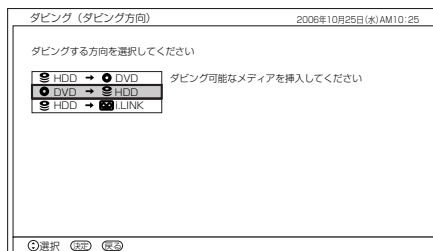
DVDに録画した番組をHDDにダビングする（DVD→HDD）

RAM　RW VR　R VR

1 本機にダビング元のDVDをセットする

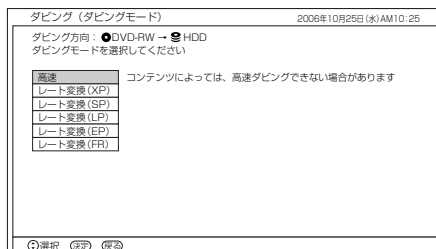
2 ［DVD］を押してDVDに切り換える

3 ［ディスクナビゲーション］を押す

4 ［カーソル▲▼◀▶］でダビングしたい番組またはプレイリストを選び、［べんり］を押す

5 ［カーソル▲▼］で「ダビング」を選び、［決定］を押す

6 ［カーソル▲▼］で「DVD→HDD」を選び、［決定］を押す

※「HDD→i.LINK」はDV-DH1000D/500Dで表示されます。

• ダビング方向の詳細については、「ダビングについて」（111ページ）をご覧ください。

7 [カーソル▲▼]でダビングモードを選び、[決定]を押す

コンテンツの選択画面が表示されます。

- ダビングモードの詳細については、「ダビングについて」（111ページ）をご覧ください。

8 [カーソル◀▶]でダビングしたい番組またはプレイリストを選び、[決定]を2回押す

選択結果欄に番組またはプレイリストが表示されます。

- [緑／アングル]を押すたびに、番組一覧とプレイリスト一覧が切り換わります。
- 左右に「◀／▶」が表示されているときは、[カーソル◀▶]を押して、一覧表示を前後に切り換えることができます。
- 選んだ番組およびプレイリストを取り消すには、[カーソル▼]を押して選択結果欄にカーソルを移動させてから、[カーソル◀▶]で取り消したい番組またはプレイリストを選び、[赤／トップメニュー]を押します。
- が表示されている番組は、ダビングできません。

9 [カーソル▲▼]で「選択終了」を選び、[決定]を押す

ダビングの確認画面が表示されます。

10 [カーソル▲▼]で「ダビング開始」を選び、[決定]を押す

ダビングの開始の確認メッセージが表示されます。

11 [カーソル◀▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

選択した番組およびプレイリストがダビングされます。

- 高速ダビングのとき、画面はテレビ放送に戻ります。
- レート変換ダビングのとき、画面は選んだ番組の再生画になります。テレビ放送に切り換えることはできません。
- ダビングを開始して画面に映像が映るまで数秒かかることがあります。

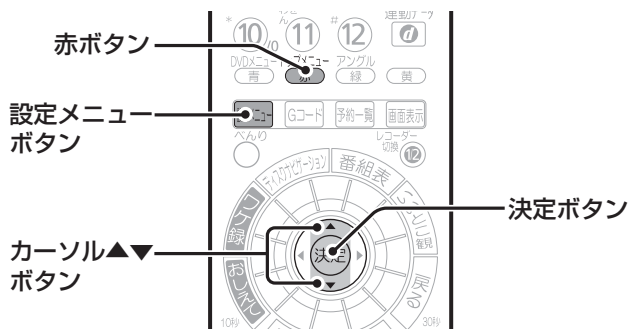
■ ダビングを途中で停止するには

[べんり]を押して、[カーソル◀▶]でべんりメニューの2ページ目に切り換えて、[カーソル▲▼]で「ダビング中止」を選んでください。

i.LINK対応機器にダビングする（DV-DH1000D/500D）

●i.LINK対応機器の接続については、「i.LINK対応機器と接続する（DV-DH1000D/500D）」（『接続・設定編』30ページ）をご覧ください。

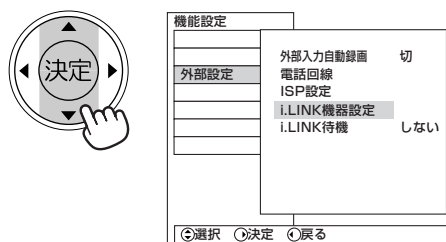
■ i.LINK対応機器を登録する

接続したi.LINK対応機器を本機に登録すると、本機でi.LINK対応機器を操作できるようになります。
同時に登録できるi.LINK対応機器は最大3台です。

1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「外部設定」を選び、［決定］を押す

外部設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で「i.LINK機器設定」を選び、［決定］を押す

4 ［カーソル▲▼］で本機に登録するi.LINK対応機器を選び、［決定］を押す

操作欄が「する」に切り換わり選んだi.LINK対応機器が本機に登録されます。
操作欄に「する」が表示されているi.LINK対応機器を本機で操作することができます。

外部機器接続設定
ｉ．ＬＩＮＫ機器設定

表示名	メーカー	機器名称	操作
D-VHS2	HITACHI	DT-DRX100	しない
D-VHS3	HITACHI	DT-DRX100	する
D-VHS4	HITACHI	DT-DRX100	する

選択　決定 設定変更　戻る　赤 機器消去

- ［決定］を押すたびに、「する」（登録）と「しない」（解除）が交互に切り換わります。
- 本機に登録されていても、接続されていないi.LINK対応機器の操作欄には「不可」と表示されます。
- i.LINK対応機器の登録をすべて解除する場合は、すべてのi.LINK対応機器を取り外してから、［赤／トップメニュー］を押してください。

5 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

ご注意

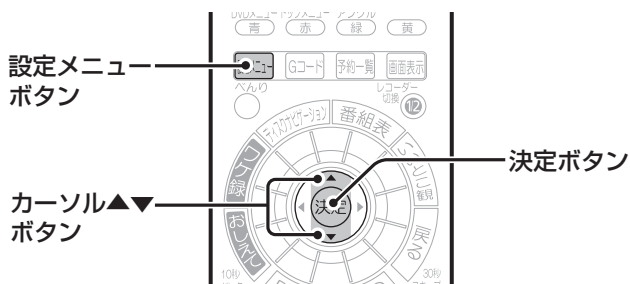
- **i.LINKダビングで本機に接続できるD-VHSは1台です。複数のD-VHSが本機に接続されている場合、i.LINKダビングはできません。**
- 本機に搭載されているi.LINK端子（MPEG（TS））は、MPEG2圧縮TS（トランスポート・ストリーム）データをやりとりします。DVカメラやDVビデオデッキに搭載されているDV端子は、DV圧縮データをやりとりします。したがって、本機とDVカメラやDVビデオデッキで使用するケーブルや端子の形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることができません。また、同じMPEG2圧縮データを扱う機器であっても、MPEG2圧縮TSデータ以外のデータをやりとりする機器と接続した場合、デジタルデータのやりとりはできません。

お知らせ

- 4台目のi.LINK対応機器を登録したい場合は、すでに登録されている3台のうち、いずれか1台を解除してください。
- 接続しているi.LINK対応機器のメーカー名や機種名が画面に表示されないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続したi.LINK対応機器によっては、メーカー名や機種名が表示されないことがあります。
- D-VHSビデオ以外の機器は表示されないことがあります。
- 本機で操作中のi.LINK対応機器は登録を解除できません。

残す・消す

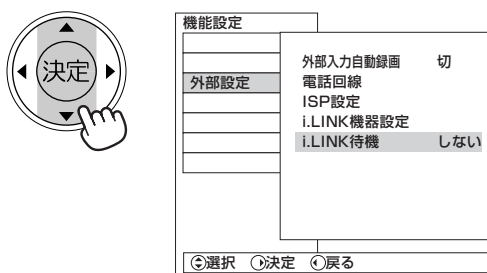
■ i.LINK対応機器の制御を受ける

本機の電源を切っていても、接続しているi.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできるように設定します。

1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「外部設定」を選び、［決定］を押す

外部設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で「i.LINK待機」を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

4 ［カーソル▲▼］で「する」または「しない」を選び、［決定］を押す

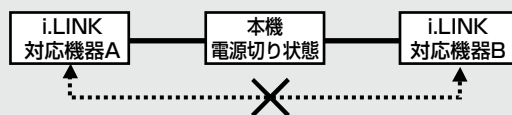
i.LINK待機が設定されます。

設定項目	内　容
する	本機の電源を切っていても、i.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできます。
しない	本機の電源を切ると、i.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできません。

5 ［設定メニュー］を押す

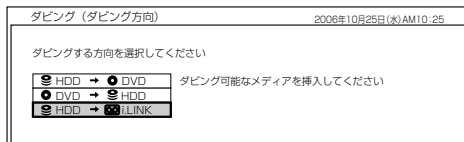
機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 本機を中継するかたちで複数のi.LINK対応機器を接続した場合、本機能を「しない」に設定して電源を切った状態にすると、接続されているi.LINK対応機器間の制御やデータのやりとりができなくなります。

- i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなるように、本機能を「しない」に設定してください。

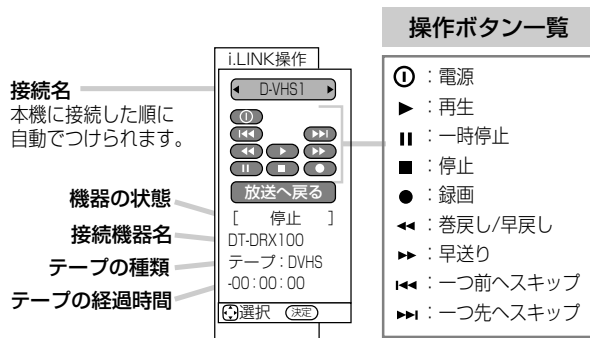
■ i.LINK接続したD-VHSにダビングする

「TS」モードでHDDに録画された番組を、i.LINK接続されたD-VHSにダビングすることができます。

116ページ手順6の画面で「HDD→i.LINK」を選んでください。

●i.LINKダビングの前に、i.LINKコードで接続したD-VHSを以下の手順でリンクしてください。

1. ［べんり］を押す

2. ［カーソル ◀▶ ］でべんりメニューの2ページ目を表示し、［カーソル ▲▼］で「i.LINK操作」を選び、［決定］を押す

相手機器をリンクすると、以下の操作画面が出ます。カーソルボタンで選び［決定］を押すと、操作が始まります。

●i.LINKダビング時は、1回に1つの番組しか選べません。
●i.LINKダビング（移動）中は再生画面が表示されます。テレビ放送に切り換えることはできません。
●デジタル標準テレビ放送の録画番組をi.LINKダビングする場合、D-VHSの録画モードは「STD」モードになります。
●i.LINKで接続したD-VHS機器から本機へのダビングはできません。
●i.LINKダビングできるD-VHS機器は、DT-DRX100（日立製）、HM-DHX1（日本ビクター製）、HM-DHS1（日本ビクター製）、HM-DHX2（日本ビクター製）、HVR-HD250F/HVR-HD160F/HVR-HD160M（I·O DATA製）のみです。他のD-VHSではダビングできません。
●接続したD-VHSの電源が切れている場合や、テープが挿入されていない場合などは、i.LINKダビングができません。D-VHSの電源を入れ、テープを入れてください。
●デジタル放送を「XP」、「SP」、「LP」、「EP」のいずれかのモードで録画した番組や、アナログ放送（外部入力録画を含む）の番組は、i.LINKダビングできません。
●i.LINKダビングでは、部分消去やチャプタースキップ設定の箇所で映像が乱れる場合があります。

お知らせ

● ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面の表示中にべんりメニューからダビングを実行した場合は、ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面でカーソルがあたっていた番組がコンテンツ選択画面の「選択元」でカーソルがあたっています。
● 予約録画中は、ダビングできません。
● レート変換ダビング中にレコーダー1(R1)の録画予約の開始時刻になる場合、録画予約はキャンセルされます。その場合、ダビングを実行する前に「予約録画と重なってしまいますがよろしいですか？」というメッセージが表示されます。レコーダー2(R2)の録画予約は実行されます。
● ダビング方向が「DVD→HDD」のとき、「1回だけ録画可能」の録画番組は選べません。
●「1回だけ録画可能」の録画番組が含まれるプレイリストはダビングできません。
● スキップ設定されているチャプターはダビングされません。移動（ムーブ）の場合は、HDDから消去されるのでご注意ください。
● HDDからDVDへの高速ダビング中は、テレビ放送の視聴やHDDへの録画ができます。レート変換ダビング中は再生画面が表示され、テレビ放送の視聴や録画ができません。
● ダビング中にi.LINK機器などを本機に接続した場合、ダビングは中断されます。移動（ムーブ）の場合、中断するまでの録画内容がHDDから消去されますのでご注意ください。（DV-DH1000D/500D）
● 他社のDVDレコーダーで録画した未ファイナライズのDVD-Rからはダビングできません。
● 一度にダビングできる番組数は最大99番組（DVDの場合）、1番組（i.LINK接続した機器の場合）です。
●「とばし観」を設定した番組をDVDに高速ダビングした場合、とばし観チャプターは反映されますが、とばし観再生はできません。
● ダビング中に［画面表示］を押すと、そのときの進行状況が表示されます。表示される内容は目安です。
● 本機の不具合などにより、ダビングが正常にできなかった場合の内容（データ）の補償や損失、直接、間接の損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
● チャプターが設定されている録画番組をDVDにダビングした場合、チャプターの設定はフォーマット形式によって以下のとおりに変わります。設定したチャプターをそのままダビングしたい場合は、高速ダビングしてください。

	高速ダビング	レート変換ダビング
VRフォーマット (DVD-RAM、-RW、-R)	元のまま	すべて消去
ビデオフォーマット (DVD-RW、-R)	元のまま	約5分おきに設定 (番組の録画モードなどにより時間は変わります。)

不要な番組をゴミ箱に移動する

不要な番組はゴミ箱へ移動しましょう。移動しても残量は増えません。ゴミ箱を空にしてください。

HDD TS　HDD VR

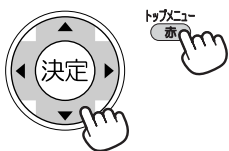
HDDに録画した不要な番組をゴミ箱に移動する

HDDで不要になった番組をゴミ箱に入れておき、後で1つずつ、またはまとめて消すことができます。ゴミ箱に入れた番組は、後で必要になったときなど、いつでも復活できるので、必要な番組を誤って消してしまう心配がありません。

1 **［ディスクナビゲーション］または［ワケ録］を押す**

 または

ディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面が表示されます。

2 **［カーソル▲▼◀▶］でゴミ箱へ移動したい番組を選び、［赤／トップメニュー］を押す**

ゴミ箱へ移動の確認メッセージが表示されます。

3 **［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す**

選んだ番組がゴミ箱に移動します。

お知らせ

- ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」（87ページ）を、ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」（92ページ）をご覧ください。
- DVDに録画した番組はゴミ箱に移動できません。直接消去してください（124ページ）。
- プロテクトした番組はゴミ箱に移動できません（140ページ）。
- 不要な番組をゴミ箱へ移動しただけでは、番組は消去されませんので、HDDの残量は変わりません。

フォルダ内の番組をまとめてゴミ箱に移動する

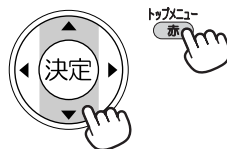
ワケ録ナビのフォルダ機能を利用して、視聴済みの番組や、DVDへのダビングが済んだ番組など、不要な番組をフォルダごとにまとめてゴミ箱に移動することができます。

1 **［ワケ録］を押す**

ワケ録ナビ画面が表示されます。

2 **［カーソル▲▼］で分類項目を選び、［決定］を押すを押す**

選択した分類項目に含まれるフォルダが表示されます。

3 **［カーソル▲▼］でゴミ箱へ移動したいフォルダを選び、［赤／トップメニュー］を押す**

ゴミ箱へ移動の確認メッセージが表示されます。

4 **［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す**

選んだフォルダ内の番組がすべてゴミ箱に移動します。

お知らせ

- ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」（92ページ）をご覧ください。

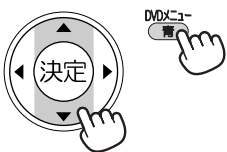
ゴミ箱に移動した番組をゴミ箱から戻す

ゴミ箱に移動した番組をゴミ箱から元に戻すことができます。ワケ録ナビの「番組名」、「ユーザー」フォルダで分類していた番組は、もとのフォルダの中に戻ります。

1 [ゴミ箱] を押す

ゴミ箱

ゴミ箱画面が表示されます。

2 [カーソル ▲▼] でゴミ箱から出したい番組を選び、[青／DVDメニュー] を押す

ゴミ箱　2006年10月25日(水)AM 8:20　1/ 5

日付	開始	長さ	チャンネル	モード	番組名
8/10(木)	PM 10: 16	0h03m	8	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 47	0h01m	8	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 46	0h01m	6	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 46	0h01m	4	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 45	0h01m	1	XP	

選択 戻る 決定 1番組消去 青 番組を元に戻す 赤 全番組消去 ページ切替

移動の確認メッセージが表示されます。

3 [カーソル ◀▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

選んだ番組がゴミ箱に移動する前に入っていた、もとのフォルダの中に戻ります。

お知らせ

- おしえてメニューやテレビ番組を見ているときのべんりメニュー、ディスクナビゲーション、ワケ録ナビ画面からも、ゴミ箱画面を表示することができます。

ゴミ箱に移した番組をHDDから消去する

ゴミ箱の中身を1つずつ消去する

ゴミ箱に入っている番組を1つずつ選択してHDDから消去できます。

お知らせ

- ゴミ箱から消去した番組は、HDDから消え、復活できないので注意してください。
- 消去中に録画予約開始時刻になると、予約録画が実行されません。

1 ［ゴミ箱］を押す

ゴミ箱

ゴミ箱画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］でHDDから消したい番組を選び、［決定］を押す

ゴミ箱　　2006年10月25日(水) AM 8:20　1/ 5

日付	開始	長さ	チャンネル	モード	番組名
8/10(木)	PM 10: 16	0h03m	8	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 47	0h01m	8	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 46	0h01m	6	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 46	0h01m	4	XP	
NEW 8/10(木)	PM 9: 45	0h01m	1	XP	

選択 戻る 決定 1番組消去 青 番組を元に戻す 赤 全番組消去 ページ切替

消去の確認メッセージが表示されます。

3 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

選んだ番組がHDDから消えます。

ゴミ箱の中身をすべて消去する

ゴミ箱に入っている番組をHDDからまとめて消去できます。

お知らせ

- ゴミ箱から消去した番組は、HDDから消え、復活できないので注意してください。
- 消去中に録画予約開始時刻になると、予約録画が実行されません。

1 ［ゴミ箱］を押す

ゴミ箱画面が表示されます。

2 ［赤／トップメニュー］を押す

消去の確認メッセージが表示されます。

3 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

ゴミ箱の中の番組がすべてHDDから消えます。

お知らせ

- 編集などにより作業ファイルが作成されることがあります。この作業ファイルは元に戻すことができませんので、ゴミ箱から消去してください。
- ダビング（ムーブ）、更新録画、TSモードで録画した番組の部分消去を行うと、ゴミ箱画面に「このメッセージを選択して、他の番組と同じように消去してください　残量が増えます」と赤い文字で表示されます。HDDの残量を増やすため、ゴミ箱から消去してください。

DVDに録画した番組を消去する

RAM　RW VR

DVDに録画されている不要な番組を消去できます。消去した番組がプレイリストに登録されている場合は、プレイリストからも消去されるので注意してください。

■選んだ番組を消去する

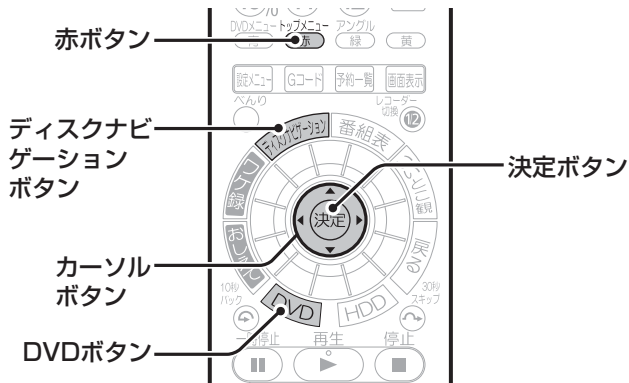
1 本機にDVDディスクをセットし、［DVD］を押す

2 ［ディスクナビゲーション］を押す

録画されている番組がディスクナビゲーション画面に表示されます。

3 ［カーソル▲▼◀▶］で消去したい番組を選び、［赤／トップメニュー］を押す

4 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

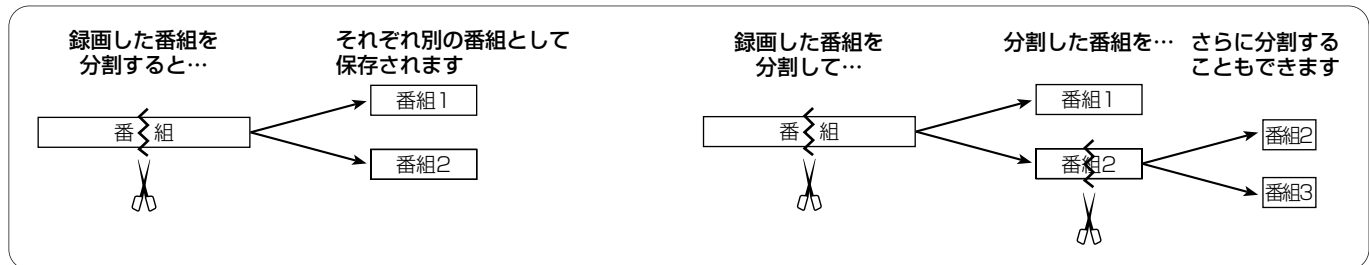
選んだ番組が消去されます。

お知らせ

- プロテクトした番組は消去できません。消去したい場合は、プロテクトを解除してください（140、141ページ）。
- HDDに録画した番組を消去する場合、不要な番組をゴミ箱へ移動してから消去します（121、123ページ）。
- 録画中の番組は消去できません。
- DVDのすべての番組を消去するには、フォーマット（初期化）を行ってください（142ページ）。

録画した番組を2つに分ける（番組分割）

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR

録画した番組をお好みの場所で分割して、それぞれ別の番組として保存しておくことができます。例えばアナログ放送で2つの番組を続けて録画した場合、2つの番組は1つの番組として保存されますが、2つ目の番組が始まったところで番組を分割すると、それぞれ別の番組として保存できます。

また、分割した番組をさらに分割することもできます。

番組分割画面

① **再生状態**

再生中（▶）、一時停止中（❚❚）、早送り中（▶▶）など、再生画面の状態が表示されます。

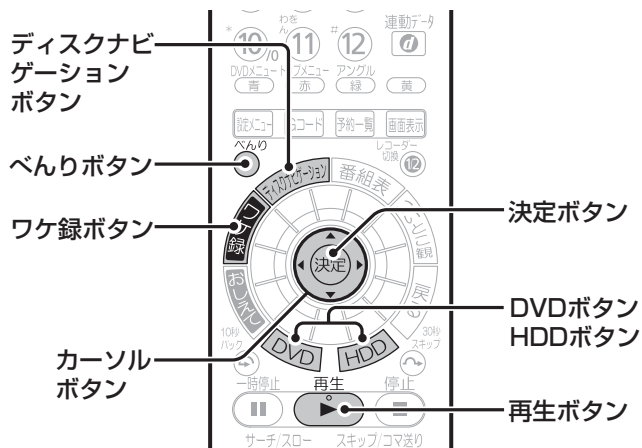
② **再生時間**

③ **再生画面**

選んだ番組が再生されます。ここで選んだ場面で番組が分割されます。

④ **番組の総再生時間**

⑤ **再生ポイント**

総再生時間のどの位置を再生しているかを示します。

編集する

1 [HDD] または [DVD] を押す

使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

• DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 [ディスクナビゲーション] を押す

録画されている番組がディスクナビゲーション画面に表示されます。

• HDDに録画した番組は、[ワケ録] を押し、ワケ録ナビ画面を表示して選ぶこともできます（90ページ）。

3 [カーソル▲▼◀▶] で分割したい番組を選び、[べんり] を押す

4 [カーソル▲▼] で「番組分割」を選び、[決定] を押す

5 [再生] を押す

番組が再生されます。

• 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。

6 分割したい場面が表示されたら、[決定] を押す

番組分割の確認メッセージが表示されます。

7 [カーソル◀▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

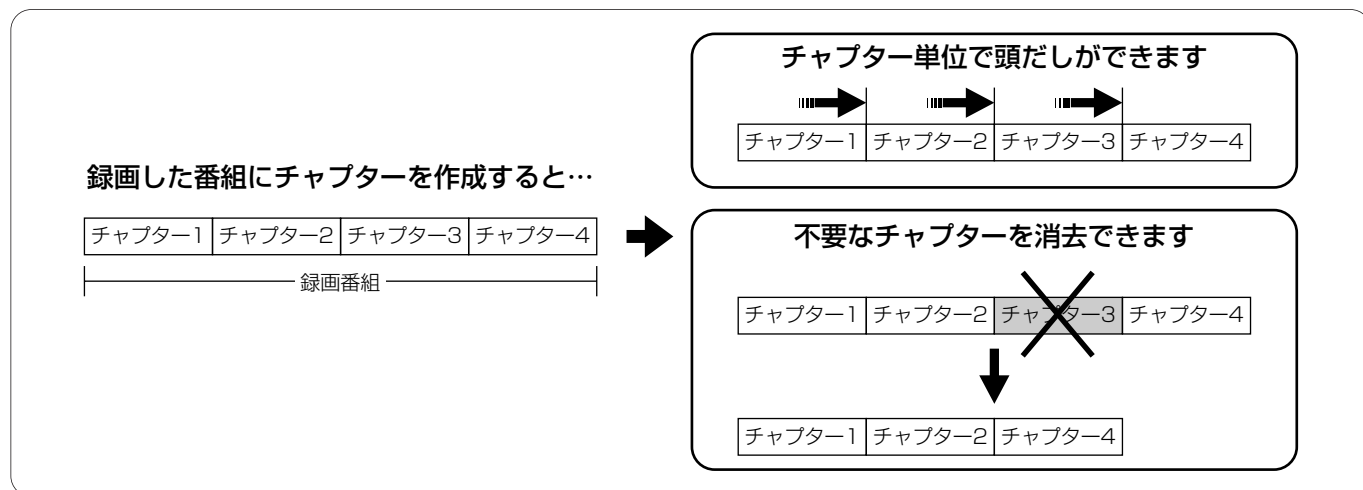
選んだ場面で番組が分割されます。

お知らせ

- ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」（87ページ）を、ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」（92ページ）をご覧ください。
- 分割した番組のタイトルは同じタイトルになります。
- 番組の前後15 秒以内の位置で分割することはできません。
- 「とばし観」や「いいとこ観」の「録画設定」を「する」に設定して録画した番組を分割すると、とばし観やいいとこ観再生ができなくなります。
- 番組分割中に約10分間なにも操作しないと、番組分割が自動的に終了します。
- 録画予約開始時刻の15分前になると、番組分割はできなくなります。
- 番組分割は録画データの区切りで行われるため、分割位置は0.5秒〜1.0秒の誤差が生じる場合があります。

録画した番組を途中で区切る（チャプター作成）

録画した番組にチャプターポイントを付けて、番組をチャプターで区切ることができます。チャプターを作成すると、以下のような操作を行うことができます。

- ●チャプターで頭出しをする（82ページ）
- ●不要なチャプターをスキップして再生する（129ページ）
- ●チャプターを消去する（130ページ）
- ●お好みのチャプターを集めてプレイリストを作成する（134ページ）

チャプター作成画面

① 再生画面

選んだ番組が再生されます。ここで表示されている場面にチャプターポイントが付きます。

② 再生状態

再生中（▶）、一時停止中（❚❚）、早送り中（▶▶）など、再生画面の状態が表示されます。

③ 再生時間

④ チャプター一覧

各チャプターの先頭の場面が一覧で表示されます。［カーソル◀▶］を押すと、チャプターを選ぶことができます。
また､スキップを設定したチャプターには、 が表示されます。

⑤ 再生ポイント

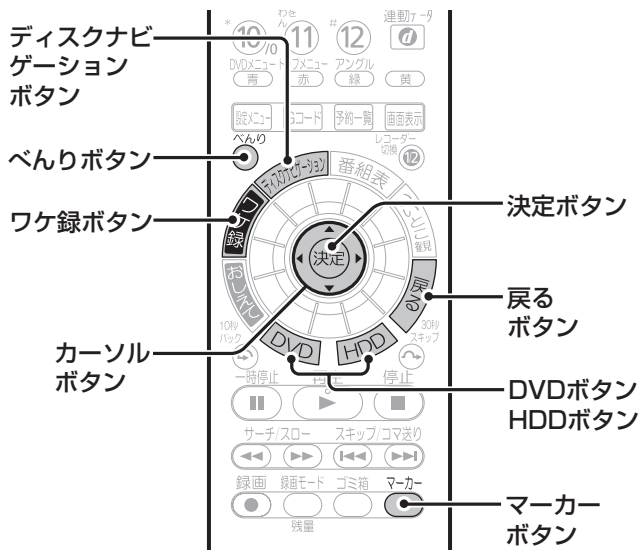
総再生時間のどの位置を再生しているかを緑色で示します。

⑥ チャプターポイント

番組内のどこにチャプターポイントを付けたかを示します。現在選んでいるチャプターポイントはオレンジ色で表示されます。

⑦ 番組の総再生時間

チャプターを作成する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR

1 ［HDD］または［DVD］を押す

使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

- DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 ［ディスクナビゲーション］を押す

録画されている番組がディスクナビゲーション画面に表示されます。

- HDDに録画した番組は、［ワケ録］を押し、ワケ録ナビ画面を表示して選ぶこともできます（90ページ）。

3 ［カーソル▲▼◀▶］でチャプターを作成したい番組を選び、［べんり］を押す

4 ［カーソル▲▼］で「チャプター作成」を選び、［決定］を押す

5 チャプターポイントを付ける場面を表示する

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。

6 ［決定］を押す

選んだ場面にチャプターポイントが付き、その場面がチャプター一覧に表示されます。再生画面には各チャプターの先頭の場面が順番に表示されます。

- 続けてチャプターを作成したい場合は、手順5〜6を繰り返します。
- ［マーカー］を押しても、チャプターを作成することができます。

7 チャプターの作成が終了したら、［戻る］を押す

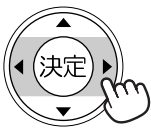
チャプター作成画面が消えます。

お知らせ

- ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」（87ページ）を、ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」（92ページ）をご覧ください。
- チャプターを作成した番組には、ディスクナビゲーション画面、ワケ録ナビ画面で SKIP が表示されます。
- 1つの番組で作成できるチャプターは最大99個です。
- 本機で作成できるチャプターは、以下のとおりです。
  - HDD（VR）の場合は最大9999個
  - HDD（TS）、DVD-RAM、DVD-RW（VR）の場合は最大999個
- 2秒以内の間隔でチャプターを作成することはできません。
- 再生中に［マーカー］を押しても、チャプターを作成することができます。
- 「とばし観」の「録画設定」を「する」に設定して録画した番組でチャプターを作成すると、とばし観再生ができなくなります。
- チャプターの作成中に約10分間なにも操作しないと、チャプターの作成が自動的に終了し、途中までの作成内容が設定されます。
- チャプターは0.5秒〜1.0秒単位で設定されるため、実際に設定した位置と誤差が生じる場合があります。
- チャプターのリピート再生は、チャプター一覧画面（130ページ、手順5）で、べんりメニューから行ってください（43ページ）。

チャプターポイントを消去する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR

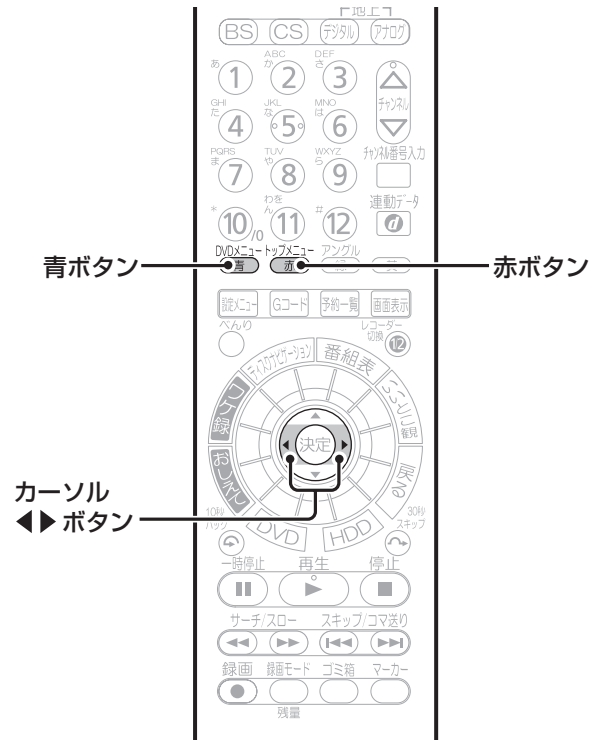
1 チャプター作成画面（127ページ）で［カーソル ◀▶］を押して消去するチャプターポイントを選び、［赤／トップメニュー］を押す

選んだチャプターポイントが消去されます。

お知らせ

● ［赤／トップメニュー］を押したときに、消去実行の確認画面は表示されませんのでご注意ください。

不要なチャプターをスキップする

HDD TS

スキップを設定すると、再生時にスキップされます。

1 チャプター作成画面（127ページ）で［カーソル ◀▶］を押してスキップするチャプターを選び、［青／DVDメニュー］を押す

［青／DVDメニュー］を押すたびにスキップ設定と解除が切り換わります。

お知らせ

● スキップ設定は「TS」モードで録画した番組のみ設定できます。

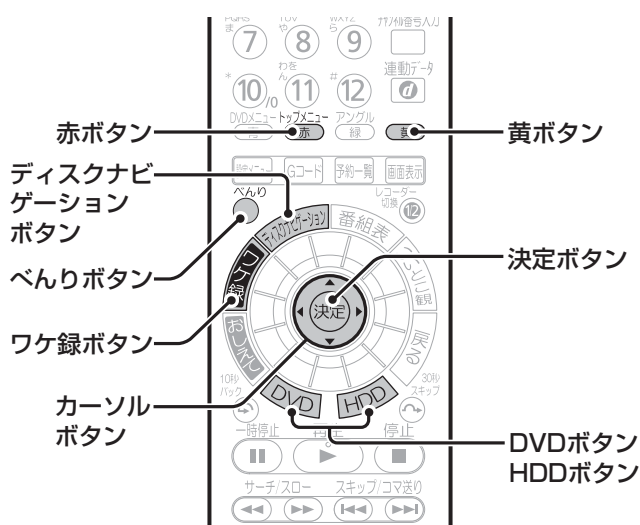
● DVDへムーブ・ダビングすると、スキップ設定した部分を除いてムーブ・ダビングできます。

不要なチャプターを消去する

HDD VR　RAM　RW VR

作成したチャプターを一覧表示して、不要なチャプターを消去することができます。

ご注意

- あるチャプターポイントから次のチャプターポイントまでの区間の映像が消去されます。
  ※消去したチャプターはHDDまたはDVDから消去されますのでご注意ください。

1 [HDD] または [DVD] を押す

 または

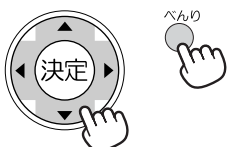
使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

- DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 [ディスクナビゲーション] を押す

録画されている番組がディスクナビゲーション画面に表示されます。

- HDDに録画した番組は、[ワケ録] を押し、ワケ録ナビ画面を表示して選ぶこともできます（90ページ）。

3 [カーソル▲▼◀▶] で消去したいチャプターのある番組を選び、[べんり] を押す

4 [カーソル▲▼] で「チャプター一覧」を選び、[決定] を押す

5 [カーソル▲▼◀▶] で消去したいチャプターを選び、[赤／トップメニュー] を押す

チャプター消去の確認メッセージが表示されます。

6 [カーソル◀▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

選んだチャプターが番組から消去されます。

- 消去するチャプターがプレイリストに登録されている場合は、さらにチャプター消去の確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、チャプターが消去され、プレイリストからも消去されます。

お知らせ

- ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」（87ページ）を、ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」（92ページ）をご覧ください。
- DVDにディスクプロテクト（141ページ）が設定されている場合、チャプターを消去することはできません。
- 「とばし観」や「いいとこ観」の「録画設定」を「する」に設定して録画した番組でチャプターを消去すると、とばし観やいいとこ観再生ができなくなります。
- 「TS」モードで録画した番組は、チャプターを消去できません。不要な部分はスキップ設定してください（129ページ）。

不要な部分を消去する（部分消去）

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR

番組内の不要な部分を消去することができます。
複数の不要な部分をまとめて選択し、一括消去することもできます。

部分消去画面

① **消去対象画面**
選んだ番組が再生されます。ここで表示される場面から消去部分を選びます。

② **再生状態**
再生中（▶）、一時停止中（❚❚）、早送り中（▶▶）など、再生画面の状態が表示されます。

③ **再生時間**

④ **消去部分一覧**
消去部分の先頭の場面が一覧で表示されます。各消去部分の下には消去する範囲が時間で表示されます。［カーソル◀▶］を押すと、消去部分を選ぶことができます。

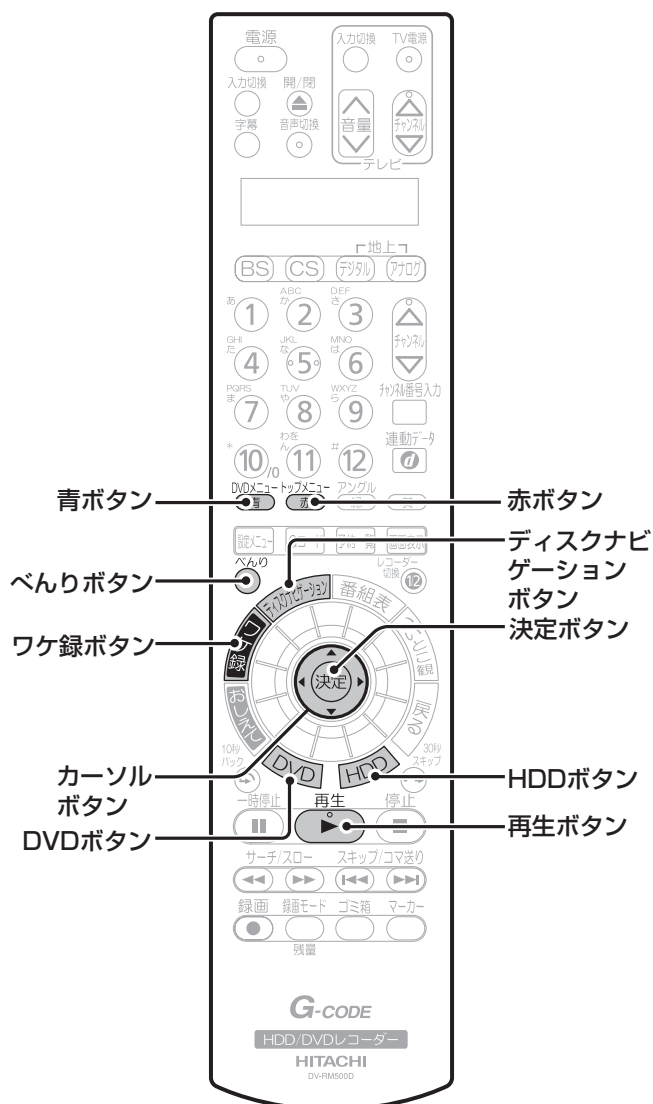
⑤ **消去ポイント**
番組内のどの部分を消去するかを示します。消去される部分は赤色で表示されます。

⑥ **消去開始位置**
現在設定している消去部分の開始場面が表示されます。

⑦ **消去終了位置**
現在設定している消去部分の終了場面が表示されます。

⑧ **番組の総再生時間**

⑨ **消去後の時間**
設定した消去部分を消去したときの番組の総再生時間が表示されます。

⑩ **再生ポイント**
総再生時間のどの位置を再生しているかを緑色で示します。

1 ［HDD］または［DVD］を押す

 または

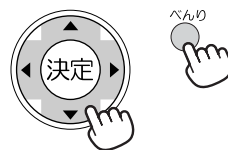
使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

• DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 ［ディスクナビゲーション］を押す

録画されている番組がディスクナビゲーション画面に表示されます。

• HDDに録画した番組は、［ワケ録］を押し、ワケ録ナビ画面を表示して番組を選ぶこともできます（90ページ）。

3 ［カーソル▲▼◀▶］で部分消去したい番組を選び、［べんり］を押す

4 ［カーソル▲▼］で「部分消去」を選び、［決定］を押す

5 ［再生］を押して消去したい部分の先頭の場面を表示する

• 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。

6 ［決定］を押す

消去部分の開始位置が設定されます。

7 手順5〜6を繰り返して、消去部分の終了位置を設定する

8 ［決定］を押す

設定した開始位置と終了位置の間の部分が消去対象になり、消去部分一覧に表示されます。

• 続けて他の部分を消去したい場合は、手順5〜8を繰り返します。
• 最大20個まで設定できます。

9 部分消去の設定が終了したら、[赤／トップメニュー] を押す

部分消去の確認メッセージが表示されます。

• 部分消去を解除するには、[カーソル▲▼◀▶] で解除したい消去対象を選び、[青／DVDメニュー] を押します。

10 [カーソル ◀▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

設定したすべての部分が番組から消去されます。

• 一度消去した部分は元に戻せませんのでご注意ください。

お知らせ

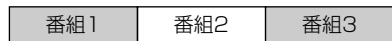
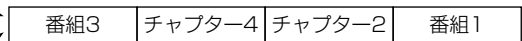
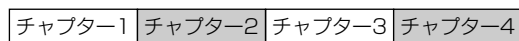
- ディスクナビゲーション画面については「ディスクナビゲーションを使って録画した番組を再生する」(87ページ) を、ワケ録ナビ画面については「ワケ録ナビを使ってHDDに録画した番組を再生する」(92ページ) をご覧ください。
- 消去部分の最短時間は約2秒です。
- 消去部分と消去部分の最短間隔は約1秒です。
- 消去する部分の長さや数によっては、消去完了までに時間がかかることがあります。
- 番組の先頭を消去開始位置に設定することはできますが、消去はされません。
- 「とばし観」や「いいとこ観」の「録画設定」を「する」に設定して録画した番組で部分消去すると、とばし観やいいとこ観再生ができなくなります。
- 録画予約開始時刻の15分前になると、部分消去はできなくなります。
- チャプターは約0.5秒～1.0秒単位で設定されるため、部分消去を行っても約0.5秒～1.0秒程度の消去位置の誤差が生じる場合があります。
- TSモードで録画した番組の場合、部分消去を行ってもHDDの残量は増えません。

お好みのシーンを集めたプレイリストを作成する

HDD VR RAM RW VR

録画した番組やお好みのシーンを集めてプレイリストを作成できます。番組全体はもちろん、チャプター（127ページ）もプレイリストに登録できるので、お好みのシーンやジャンルの番組をお好きな順序で楽しむことができます。また、すでに登録されているプレイリストに新しい番組やチャプターを追加したり、プレイリストのタイトルを入力したりすることもできます。

プレイリストを作成する

番組やチャプターを集めて、プレイリストを作成します。

プレイリスト編集画面

① **選択元**

録画されている番組（タイトル）またはチャプターが一覧で表示されます。ここからプレイリストに登録する番組またはチャプターを選びます。

［黄］を押すたびに、番組（タイトル）と選んだ番組のチャプターが交互に切り換わります。

チャプターの場合は、選んでいるチャプターの番号と再生時間が下側に表示されます。

② **作成プレイリスト**

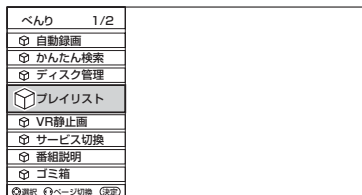
プレイリストの作成日時、名前、登録した番組およびチャプター一覧、総再生時間が表示されます。ここで表示されている順番でプレイリストが再生されます。

1 ［HDD］または［DVD］を押す

使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

- DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 ［べんり］を押す

3 ［カーソル▲▼］で「プレイリスト」を選び、［決定］を押す

プレイリスト一覧画面が表示されます。

4 ［青／DVDメニュー］を押す

プレイリスト編集画面が表示されます。

5 ［カーソル◀▶］でプレイリストに登録したい番組またはチャプターを選び、［決定］を押す

作成プレイリスト欄にカーソルが表示されます。

- ［緑／アングル］を押すと、選んでいる番組のチャプター表示に切り換わります。［緑／アングル］を押すたびに、番組表示とチャプター表示が切り換わります。
- 左右に「◀/▶」が表示されているときは、［カーソル◀▶］を押して、番組およびチャプター一覧を前後に切り換えることができます。

6 ［カーソル ◀▶ ］で登録する場所を選び、［決定］を押す

番組またはチャプターが選んだ場所に登録されます。

- 選んだ番組にチャプターがある場合、プレイリスト欄にはそのチャプター一覧が表示されます。
- 最初の番組またはチャプターを登録するときは、場所を選ぶことができません。

7 手順5〜6を繰り返して、番組およびチャプターをプレイリストに登録する

- プレイリストに登録した番組およびチャプターを削除するには、［カーソル▼］を押して作成プレイリスト欄にカーソルを移動させてから、［カーソル ◀▶ ］で削除する番組またはチャプターを選び、［赤／トップメニュー］を押します。

8 ［青／DVDメニュー］を押す

作成したプレイリストが登録され、プレイリスト一覧画面に戻ります。

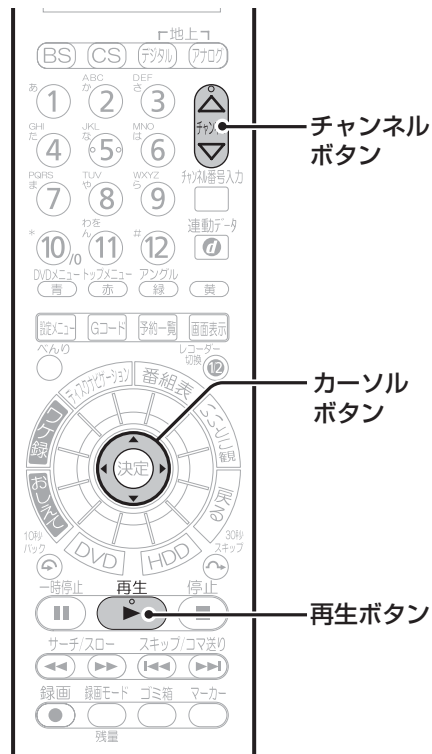
9 ［戻る］を押す

プレイリスト一覧画面が消えます。

お知らせ

- ●「TS」モードで録画した番組およびチャプターは、プレイリストに登録できません。
- ● ディスクプロテクト（141ページ）されているDVDの番組およびチャプターは、プレイリストに登録できません。
- ● プレイリストに「1回だけ録画可能」の録画番組が含まれている場合は、ムーブ または COPY が表示され、ダビングできません。
- ● プレイリストの作成中に約10分間なにも操作しないと、プレイリストの作成が自動的に終了し、途中までの作成内容で登録されます。
- ● プレイリストでは「とばし観」や「いいとこ観」は使用できません。

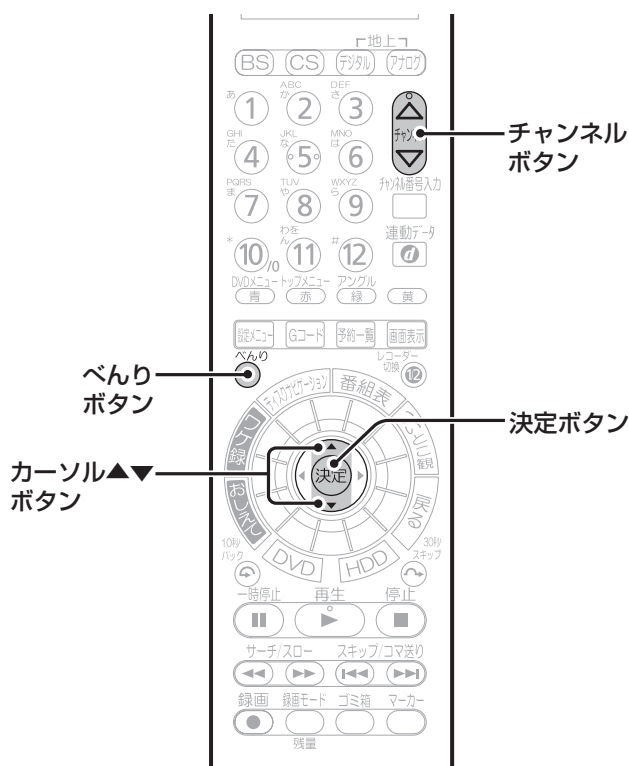
プレイリストを再生する

プレイリストを再生すると、登録されている順番で番組およびチャプターが再生されます。

1 プレイリスト一覧画面（135ページ、手順3）で再生したいプレイリストを選び、［再生］を押す

- 再生中の操作については、「再生中の操作と再生の便利な機能」（81ページ）をご覧ください。
- リピート再生はべんりメニューから行ってください（43ページ）。
- 登録されているプレイリストが1画面に表示しきれない場合は、［チャンネル△▽ ］を押して画面をスクロールさせてください。

プレイリストを編集する

すでに登録されているプレイリストに新しい番組やチャプターを追加したり、不要なプレイリストを消去したり、プレイリストにタイトルを入力したりすることができます。

■番組およびチャプターを追加する

1 プレイリスト一覧画面（135ページ、手順3）で番組およびチャプターを追加したいプレイリストを選び、[黄] を押す

プレイリスト編集画面が表示されます。

• 登録されているプレイリストが1画面に表示しきれない場合は、[チャンネル△▽] を押して画面をスクロールさせてください。

2 番組およびチャプターを追加登録する

• 番組およびチャプターの追加方法については、「プレイリストを作成する」（134ページ）をご覧ください。

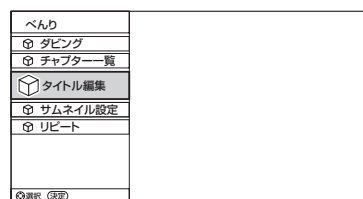
3 [青／DVDメニュー] を押す

追加した番組およびチャプターがプレイリストに登録されます。

■番組プレイリストのタイトルを入力する

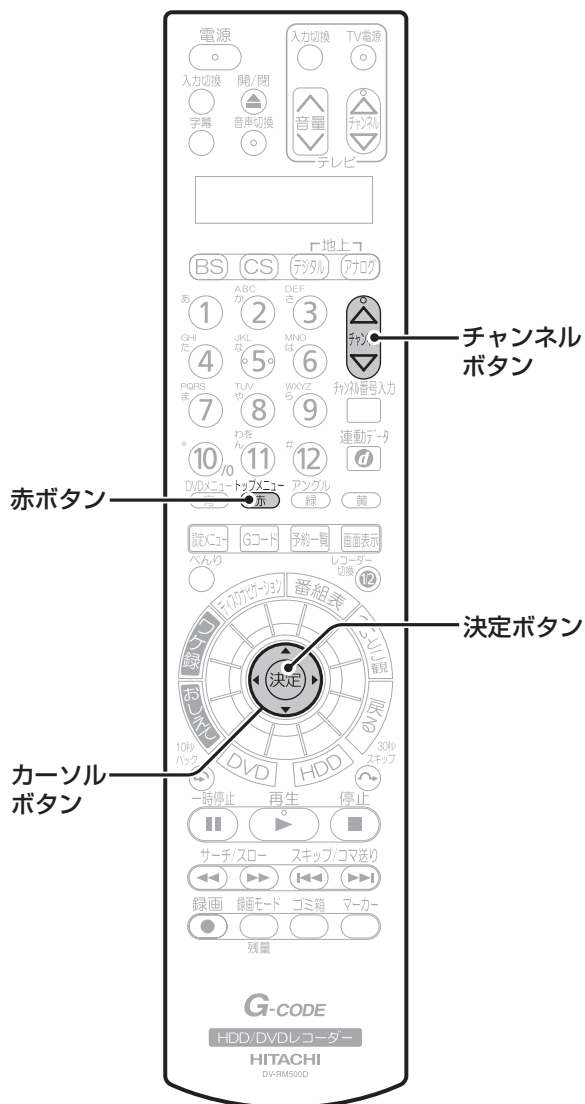
1 プレイリスト一覧画面（135ページ、手順3）でタイトルを入力したいプレイリストを選び、[べんり] を押す

• 登録されているプレイリストが1画面に表示しきれない場合は、[チャンネル△▽] を押して画面をスクロールさせてください。

2 [カーソル ▲▼] で「タイトル編集」を選び、[決定] を押す

3 タイトルを入力する

プレイリストにタイトルが登録されます。

• 文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

編集する

■プレイリストを消去する

1 プレイリスト一覧画面（135ページ、手順3）で消去したいプレイリストを選び、[赤／トップメニュー] を押す

プレイリスト消去の確認メッセージが表示されます。

• 登録されているプレイリストが1画面に表示しきれない場合は、[チャンネル△▽] を押して画面をスクロールさせてください。

2 [カーソル◀▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

選んだプレイリストが消去されます。

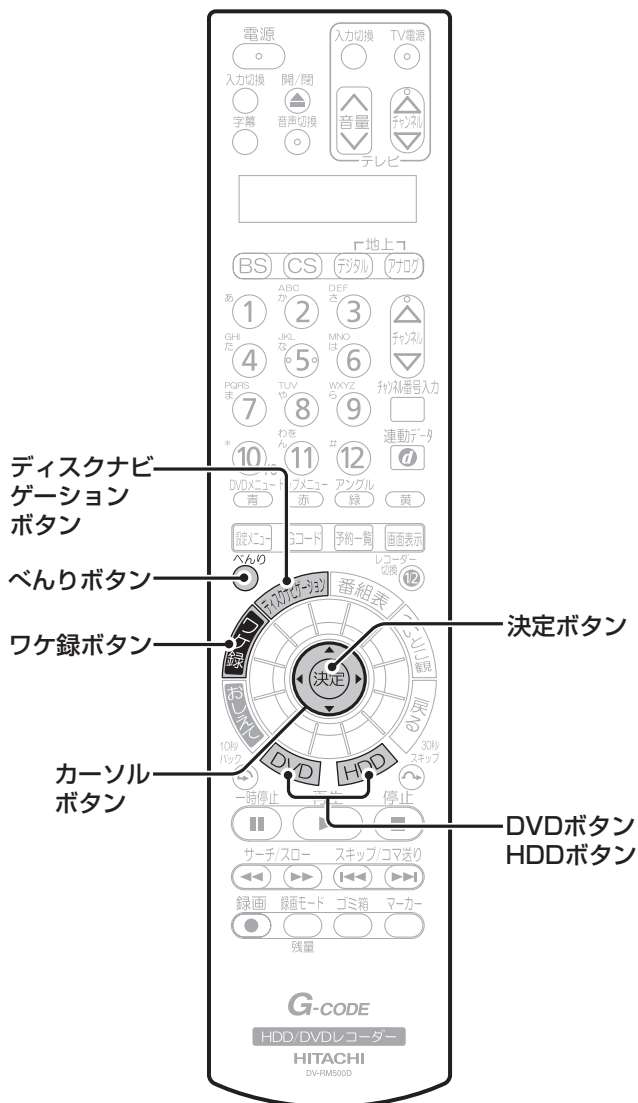
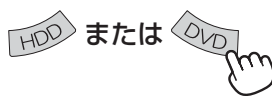
お知らせ

● プレイリストを消去しても、元の番組およびチャプターは消去されません。プレイリストに登録されている元の番組またはチャプターを消去すると、プレイリストからも消去されます。

録画した番組を管理する

録画した番組のタイトルを入力する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

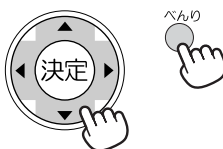
本機で録画した番組にタイトル（番組名）を入力することができます。タイトルを入力すると、ディスクナビゲーション画面のリスト一覧表示で入力したタイトル（番組名）が表示されます。

1 ［HDD］または［DVD］を押す

使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

- DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 ［ディスクナビゲーション］を押す

録画されている番組がディスクナビゲーション画面に表示されます。

- HDDに録画した番組は、［ワケ録］を押し、ワケ録ナビ画面を表示して選ぶこともできます（90ページ）。

3 ［カーソル ▲▼◀▶ ］でタイトルを入力したい番組を選び、［べんり］を押す

4 ［カーソル ▲▼］で「タイトル編集」を選び、［決定］を押す

5 番組のタイトルを入力する

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 以下のDVDディスクでは、番組のタイトル入力はできません。
  - ・ディスクプロテクト（141ページ）されたDVDディスク
  - ・VRフォーマットのDVD-RWとDVD-Rを除く、ファイナライズ（143ページ）されたDVDディスク

編集する

録画した番組を消去できないようにする（プロテクト）

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR

大切な録画番組を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1 ［HDD］または［DVD］を押す

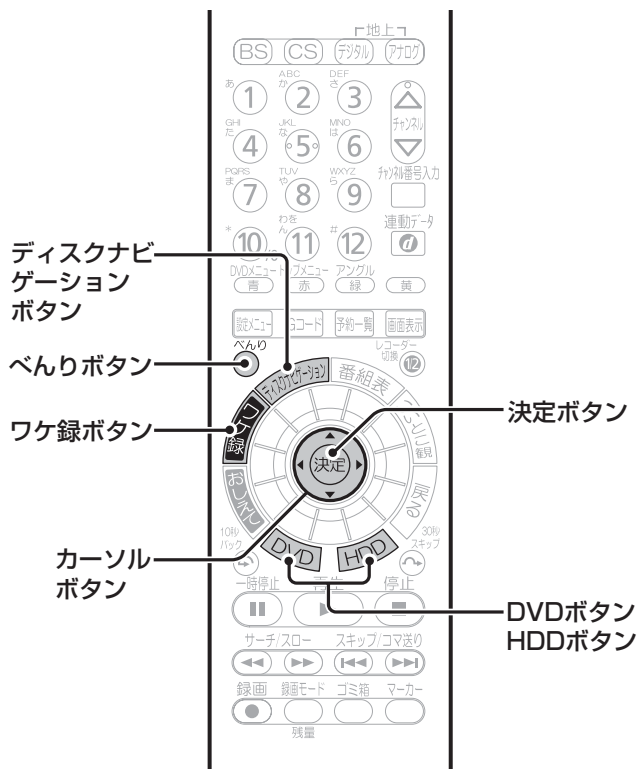
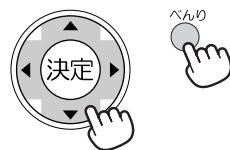
または

使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。

• DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。

2 ［ディスクナビゲーション］または［ワケ録］を押す

または
録画されている番組がディスクナビゲーション画面またはワケ録ナビ画面に表示されます。

• ［ワケ録］は、手順1でHDDを選んだときのみ働きます。

3 ［カーソル▲▼◀▶］でプロテクトしたい番組を選び、［べんり］を押す

• ワケ録ナビ画面で、個々の番組の代わりにサブフォルダを選ぶと、サブフォルダ内の番組を一度にまとめてプロテクトすることができます。

4 ［カーソル▲▼］で「プロテクト」を選び、［決定］を押す

• プロテクトした番組には、🔒が表示されます。

■ プロテクトを解除するには

手順3でプロテクトされている番組またはワケ録ナビのサブフォルダを選び、手順4を行います。

※ ワケ録ナビのサブフォルダ内のすべての番組がプロテクトされている場合、この手順により、すべての番組のプロテクトが解除されます。

ご注意

● HDDを初期化する（146ページ）と、プロテクトした番組も消去されるのでご注意ください。

● DVD-RAMおよびDVD-RW ディスクをフォーマット（142ページ）すると、プロテクトした番組も消去されますのでご注意ください。

お知らせ

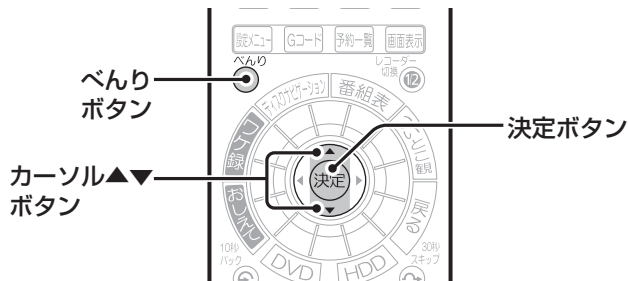
● ディスクプロテクト設定されているDVDディスク（141ページ）の番組をプロテクトすることはできません。

● プロテクトした番組でも部分消去（131ページ）はできます。

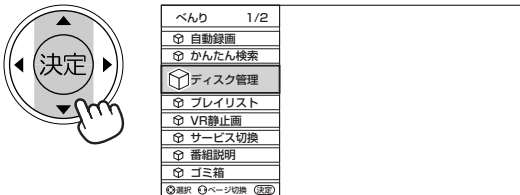
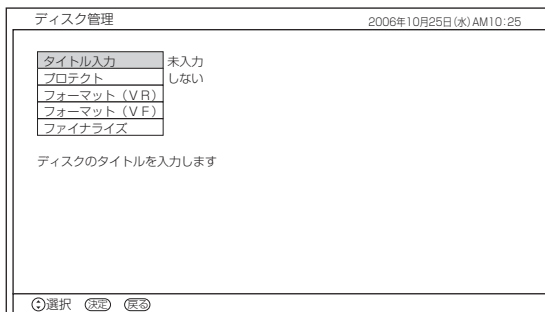
DVDディスクを管理する（ディスク管理）

DVDのディスクタイトルを入力する

RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

DVDディスクにタイトルを入力できます。

1 DVDディスクをディスクトレイに入れる

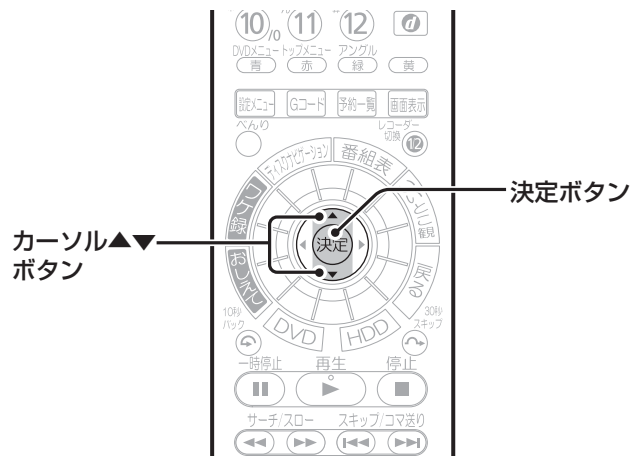
2 [べんり] を押す

3 [カーソル ▲▼] で「ディスク管理」を選び、[決定] を押す

4 [カーソル ▲▼] で「タイトル入力」を選び、[決定] を押す

5 DVDディスクのタイトルを入力する

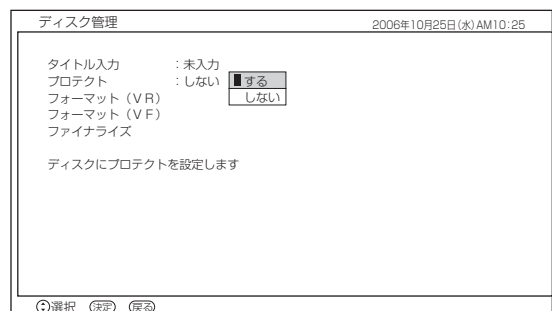
- 文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

DVDディスクの録画番組を消去できないようにする（プロテクト）

RAM　RW VR

大切な録画番組を誤って消去しないように保護（プロテクト）できます。

1 ディスク管理画面（左欄、手順4）で「プロテクト」を選ぶ

設定内容が表示されます。

2 [カーソル ▲▼] で「する」を選び、[決定] を押す

- 「する」または「しない」を選び [決定] を押すと、しばらく（約10秒）本機の操作ができません。

編集する

DVDディスクをフォーマットする

RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

DVDディスクに記録されているすべての内容を消去するにはフォーマット（初期化）を行ってください。

以下の場合にはフォーマットが必要です。

- 本機ではじめて使用するDVD-RW、DVD-Rディスクを入れたとき
- DVD-RAM、DVD-RW（VRフォーマット）ディスクのすべての内容を消去するとき
- すでに使用しているDVD-RWディスクを本機で再使用できるようにしたいとき

本機でフォーマットできるDVDディスクとフォーマット形式は以下のようになります。

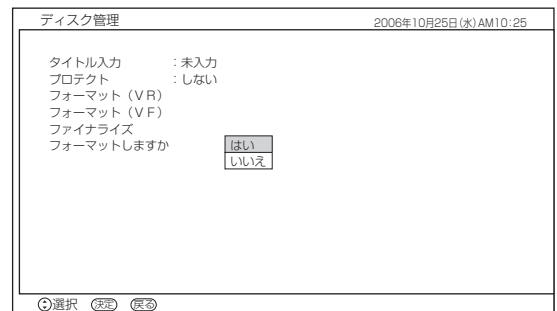
フォーマット形式	ディスクの種類	特長
VR	DVD-RAM	デジタル放送の録画やチャプター、プレイリストの作成など、本機の機能をフル活用できます。* ただし、互換性のない機器では再生できません。
	DVD-RW	
	DVD-R	
ビデオ(VF)	DVD-RW	対応している他のDVDプレーヤーで再生できます。ただし、デジタル放送の録画やチャプター、プレイリスト作成などの編集機能を使用することはできません。
	DVD-R	

＊ DVD-Rの場合、VRフォーマットで初期化してもチャプター／プレイリストの作成、および番組の消去／分割はできません。

- フォーマットを行うと、ディスクに記録されているすべての内容が消去され、元に戻すことができませんのでご注意ください。

1 ディスク管理画面（141ページ、手順4）でフォーマット形式を選ぶ

フォーマットの確認メッセージが表示されます。

2 [カーソル▲▼］で「はい」を選び、[決定］を押す

フォーマット中は本体表示窓に「FRMT」と表示され、DVDマークが点滅します。

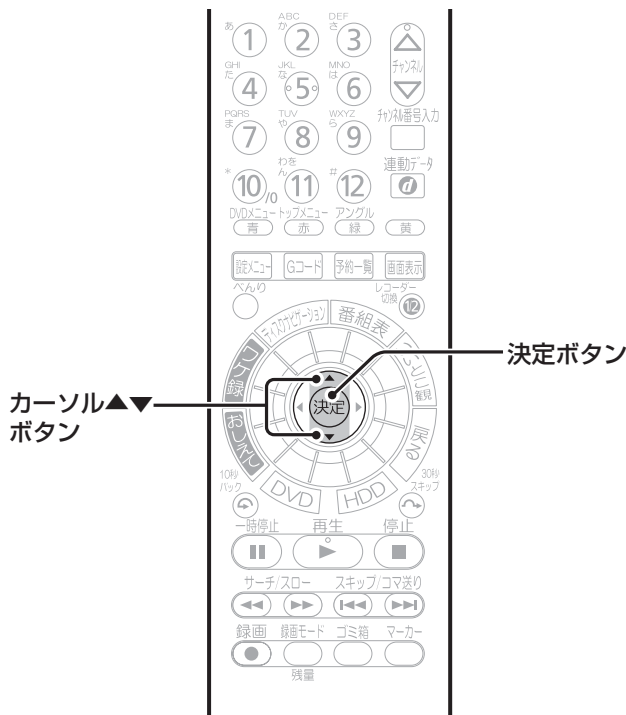
フォーマットが終了すると、画面に終了のメッセージが表示されます。

ご注意

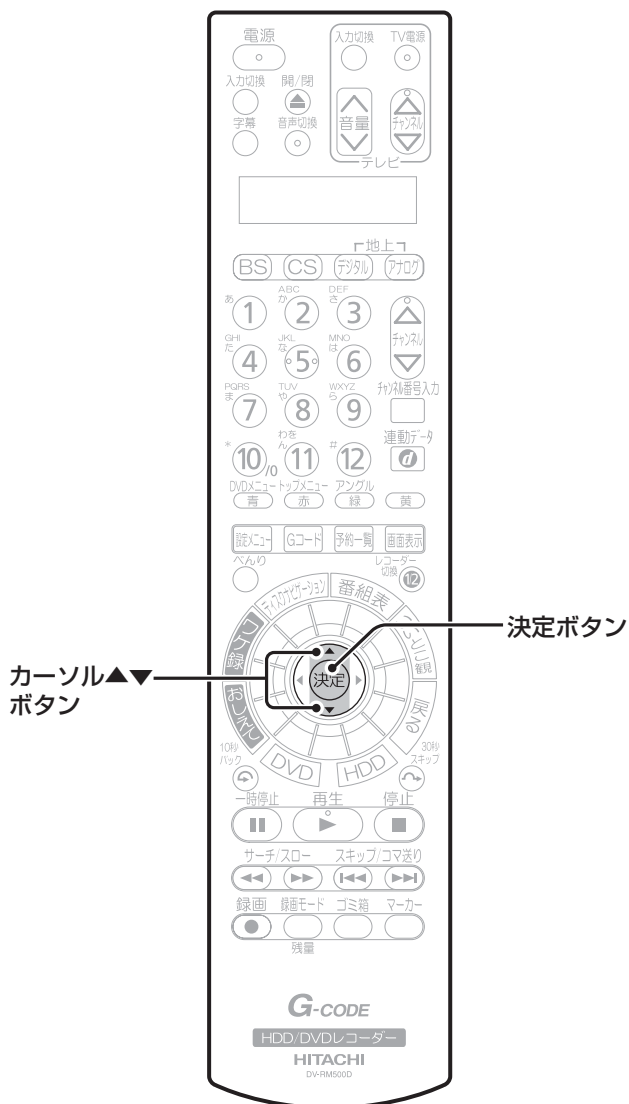
- フォーマット中は、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

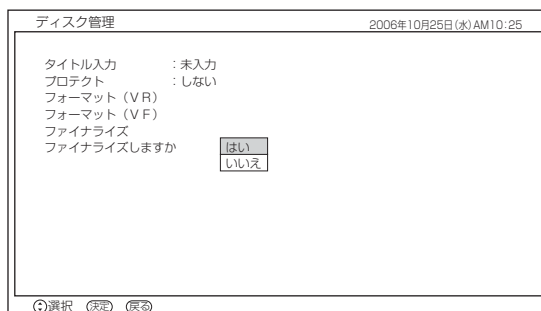
- 保護（プロテクト）したDVDディスク（141ページ）をフォーマットすることはできません。
- 「FRMT」は「Format（フォーマット）」の略です。

編集する

録画したDVDディスクを他のDVDプレーヤーで見る（ファイナライズ）

RW VR　RW V　R VR　R V

本機で録画したDVD-RWおよびDVD-Rを他のDVDプレーヤーで再生するには「ファイナライズ」が必要です。本機で録画したDVDディスクを他の機器で再生する場合は、必ずファイナライズしてください。

1 ディスク管理画面（141ページ、手順4）で「ファイナライズ」を選ぶ

ファイナライズの確認メッセージが表示されます。

2 [カーソル▲▼]で「はい」を選び、[決定]を押す

ファイナライズ中は本体表示窓に「FINL」と表示され、DVDマークが点滅します。

ファイナライズが終了すると、画面に終了のメッセージが表示されます。

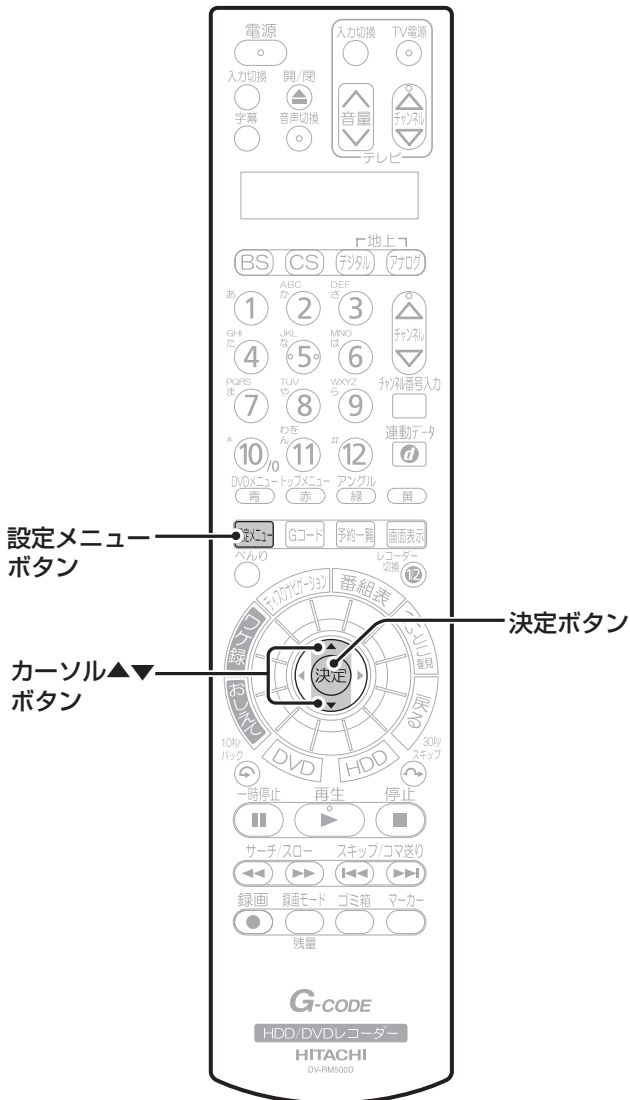
お知らせ

- 「ビデオフォーマット」のDVD-RWおよびDVD-Rは、ファイナライズするとDVDビデオ規格で記録され、DVDビデオとして再生することができます。録画や編集はできなくなりますのでご注意ください。
- 「VRフォーマット」のDVD-RWおよびDVD-Rは、ファイナライズしても互換性のない機器では再生できません。
- 本機でファイナライズされたDVD-Rは、当社のDVD-R対応のDVDプレーヤーで再生可能となりますが、すべての再生を保証するものではありません。
- 使用するDVDプレーヤーやDVD-RW、DVD-Rの記録状態などによっては、ファイナライズしても他のDVDプレーヤーで再生できない場合があります。このような場合は、本機で使用してください。
- 本機以外で録画したDVD-RWおよびDVD-Rはファイナライズすることができません。
- 「VRフォーマット」のDVD-RWは、ファイナライズ後も録画や番組の消去ができます。
- 「VRフォーマット」のDVD-RWは、ファイナライズした後に「VRフォーマット」でフォーマット（初期化）を行っても、ファイナライズ済みの状態となります。「FINL」は「Finalize（ファイナライズ）」の略です。

各種機能を設定する

設定変更の操作

本機の「HDD-DVD設定」メニューから、ハードディスク（HDD）およびDVDの動作に関する各種機能を設定することができます。

ここでは「HDD-DVD設定」メニューを例に説明しています。他の設定も同様の操作でお使いください。

1 **［設定メニュー］を押す**

機能設定画面が表示されます。

2 **［カーソル▲▼］で「HDD-DVD設定」を選び、［決定］を押す**

HDD-DVD設定メニューが表示されます。

3 **［カーソル▲▼］で設定したい機能を選び、［決定］を押す**

4 **［カーソル▲▼］で設定したい内容を選び、［決定］を押す**

選んだ内容が設定されます。

5 **［設定メニュー］を押す**

機能設定画面が消えます。

設定メニュー一覧

- 設定メニュー
  - 各種設定
    - デジタル音声出力（147ページ）
    - TruSurround（147ページ）
    - 無操作電源オフ（17ページ）
    - 文字スーパー表示（147ページ）
    - 放送時間変更対応（147ページ）
    - リモコン設定『接続・設定編』（62ページ）
    - FL省電力（17ページ）
    - ダウンロード『接続・設定編』（63ページ）
    - 時刻設定『接続・設定編』（64ページ）
    - 制限設定『接続・設定編』（66ページ）
    - 設定の初期化『接続・設定編』（68ページ）
    - 前面LED点灯（8ページ）（DV-DH1000D/500D/250Dで設定可能）
  - 受信設定『接続・設定編』（42ページ）
    - 郵便番号
    - 地域設定
    - 地上アナログ
      - CH合せ（マニュアル）
      - CHスキップ設定
      - アッテネータ
      - GRT設定（DV-DH1000Dで設定可能）
    - 地上デジタル
      - CH合せ（地域名）
      - CH合せ（マニュアル）
      - CHスキップ設定
      - 受信周波数変更
      - ダウンロード
    - BS・CS
      - CH合せ（BS）
      - CH合せ（CS）
      - CHスキップ設定（BS）
      - CHスキップ設定（CS）
      - 受信設定変更
      - ダウンロード
      - コンバーター電源
  - 外部設定
    - 外部入力自動録画（74ページ）
    - 電話回線『接続・設定編』（69ページ）
    - ISP設定『接続・設定編』（75ページ）
    - i.LINK機器設定（118ページ）（DV-DH1000D/500Dで設定可能）
    - i.LINK待機（119ページ）（DV-DH1000D/500Dで設定可能）
  - HDD-DVD設定（146ページ）
    - サムネイル作成時間
    - EP録画モード
    - とばし観
      - 録画設定
      - 再生設定
    - いいとこ観録画
    - DVD-Video互換記録
    - 二重音声選択
    - XPモード音声選択
    - 連続再生
    - HDD初期化
    - DVD専用設定
      - 音声言語
      - 字幕言語
      - メニュー言語
      - プログレッシブ
      - デジタル音声出力
      - 音声のダイナミックレンジ圧縮
    - 高速起動（17ページ）
  - TV接続設定『接続・設定編』（77ページ）
    - ワイドTV接続
    - 16:9映像出力
    - D端子出力設定
    - HDMI出力設定（DV-DH1000D/500D/250Dで設定可能）
  - 簡単セットアップ『接続・設定編』（38ページ）

編集する

HDD-DVDの各種機能を設定する

「HDD-DVD設定」メニューで設定できる機能は以下のとおりです。
　　　は初期設定（工場出荷時の設定）です。

機能名		設定内容	機能説明
サムネイル作成時間		0分／…／10分 （1分単位）	サムネイルの画像に設定するシーンを、録画開始何分後のシーンにするか、設定します。 ●「0分」に設定された場合、再生開始5秒後のシーンが設定されます。
ＥＰ録画モード		６時間モード／ ８時間モード	EPモードでのディスク1枚の録画時間を設定します。 ●6時間モード：4.7GBのディスク片面に6時間録画できます。 ●8時間モード：4.7GBのディスク片面に8時間録画できます。 8時間モードは6時間モードより画質が劣化します。HDDにもここで選択したモードで録画されます。
とばし観	録画設定	する／しない	場面の切り換りを検出し、自動的にとばし観用チャプターを記録します。 レコーダー1でHDDへ録画するときのみ有効です。
	再生設定	しない/スキップ/ サーチ	とばし観用チャプターを検出したときの再生動作を設定します。 スキップ：次のとばし観チャプターまでスキップします。 サーチ：次のとばし観チャプターまでサーチ（早送り）します。
いいとこ観録画		する／しない	「する」に設定すると、録画した番組をダイジェスト再生できます。 レコーダー1でHDDへ録画するときのみ有効です。
DVD-Video互換記録		切/入	●「入」にすると、HDDに録画した二重音声放送をDVD-R/-RW（ビデオフォーマット）に高速ダビングできます。 ●「入」にすると、HDDに録画する二重音声放送の音声は、「二重音声選択」で選んだ音声のみになります。 ●HDDに二重音声放送のまま録画したいときは「切」にしてください。
二重音声選択		主/副	●DVD-R/-RW（ビデオフォーマット）に録画する二重音声放送の音声を選べます。 ●「XPモード音声選択」を「LPCM」(XPのみ)に設定して録画する二重音声放送の音声を選べます。 ●HDDに録画した二重音声放送の番組を、DVD-R/-RW（ビデオフォーマット）にレート変換ダビングするときの音声を選べます。
XPモード音声選択		Dolby／ LPCM	録画モードがXPのときの音声を選べます。 ●Dolby･･･二重音声放送のまま録画できます。 ●LPCM･･･高音質で録画できます。二重音声放送を録画するときは「二重音声選択」で選んだ音声のみで録画されます。
連続再生		する／しない	選択したタイトルから日付の新しいタイトルへ順番に連続再生するように設定します。最新のタイトルを選択した場合は、選択したタイトルのみの再生となります。
HDD初期化		する／しない	HDDを初期化します。 ●HDDを初期化すると、すべての内容が消去されます。大切な内容はDVDなどに保存してから初期化してください。 ●初期化中はHDDを操作できません。
DVD専用設定	音声言語	日本語／英語	DVD再生時の音声言語を設定します。
	字幕言語	日本語／英語／ 字幕なし	DVD再生時の字幕言語を設定します。
	メニュー言語	日本語／英語	DVDビデオのメニュー画面の言語を設定します。
	プログレッシブ	する／しない	DVDビデオ再生時に、画面のちらつきを抑えるように設定します。
	デジタル音声出力	ダウンミックス／ ビットストリーム	ドルビーデジタル、DTS対応のオーディオ機器を本機に接続している状態でDVDビデオを再生したときの、デジタル音声出力のフォーマットを設定します。 接続したオーディオ機器がドルビーデジタル、DTSに対応していない場合は「ダウンミックス」、対応している場合は「ビットストリーム」に設定します。
	音声のダイナミックレンジ圧縮	する／しない	視聴環境に応じて自動的に音量を調整するように設定します。
高速起動		する／しない	「する」に設定すると、電源が切れている状態からすぐに操作ができます。

お知らせ

- 「とばし観」、「いいとこ観」、「HDD初期化」はHDDのみに有効な機能です。
- 「プログレッシブ」を「する」に設定した場合、著作権保護信号によって一部のハイビジョンテレビで映像に影響が出ることがあります。このような場合は、「プログレッシブ」を「しない」に設定するか、ビデオ出力で本機をテレビに接続してください。

音声出力、文字スーパー、放送時間変更対応の設定をする

本機の「各種設定」メニューから設定できます。
「各種設定」メニューのうち、本ページにない項目の参照先については、「設定メニュー一覧」（145ページ）をご覧ください。

（145ページ）

　　　は初期設定（工場出荷時の設定）です。

機能名	設定内容	機能説明
デジタル音声出力	AAC／PCM	デジタル放送視聴時や「TS」モードの録画番組再生時のデジタル音声出力を設定します。 MPEG-2 AACに対応したオーディオ機器を接続する場合、「AAC」に設定すると5.1chサラウンド音声を楽しめます。オーディオ機器がMPEG-2 AACに対応していない場合は、「PCM」に設定してください。 ●地上アナログ放送、CD、ビデオCD、外部接続したビデオデッキの再生時は、本機能の設定に関わらず「PCM」で音声が出力されます。 ●AAC出力では二重音声放送の音声切換はできません。 ●HDMI出力を使用する場合は「PCM」に設定してください。「AAC」に設定すると音声が出ません。
TruSurround	入／切	デジタル放送の音声を音声出力端子からサラウンド効果で出力するように設定します。（光デジタル出力には対応していません。）
文字スーパー表示	する／しない	文字スーパーのある番組で、文字スーパーを表示するように設定します。 ●「する」に設定していても、視聴中の番組に文字スーパーがない場合は、文字スーパーが表示されません。
放送時間変更対応	する／しない	番組表（EPG）から録画予約したデジタル放送番組の放送時間が変更された場合（以下を参照）、番組の放送時間に合わせて録画時間も変更するように設定します（番組追従）。 ・野球中継の延長などで録画番組の開始時刻が遅れた場合 ・最終回スペシャルなどで放送時間が延びた場合 ●番組放送の開始時刻が3時間以上遅れた場合、本機能は働きません。 ●番組の放送延長が、録画予約で設定した終了時刻の1分前までに確定していない場合、本機能は働きません。 ●番組表から録画予約しても、予約一覧で録画予約の内容を変更した場合、本機能は働きません。 ●マニュアル予約(63ページ)の録画予約では､本機能は働きません。 ●変更された放送時間が他の録画予約と重なる場合､他の録画予約の重なった時間の部分が録画されません。 ●ドラマなどを毎週録画予約に設定すると、野球中継の延長などで開始時刻が遅れたり、最終回のみ時間が長かった場合でも、自動で対応します。 ●放送時間の短縮には、対応していません。

文字を入力する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V

本機では画面に文字入力パッドを表示させて、文字を入力することができます。

以下のような機能で文字を入力します。

- 番組検索のキーワード入力（32ページ）
- お気に入り自動録画のキーワード入力（70ページ）
- プレイリストのタイトル入力（137ページ）
- HDDからDVDへダビング時のディスクタイトル入力（115ページ）
- 番組のタイトル入力（139ページ）
- ディスク管理時のディスクタイトル入力（141ページ）
- フォルダ名入力（95ページ）

文字入力パッドについて

文字を入力する機能を選ぶと、画面の下側に文字入力パッドが表示されます。文字入力パッドは以下のような構成になります。

① カーソル

文字入力エリアに表示されます。文字を入力したい位置にカーソルを移動させて文字を入力すると、カーソルの左側に入力した文字が表示されます。

② 文字の種類

現在選んでいる文字の種類を示します。文字の種類は入力方式によって異なります。
ひらがな入力時は漢字変換候補や予測変換候補が表示されます。

③ 入力方式

現在選んでいる入力方式が表示されます。「数字キー方式」、「ソフトキーボード方式」、「外部キーボード方式」の3種類があります。

④ 各ボタンで操作できる機能

リモコンの各ボタンで操作できる内容が表示されます。

⑤ 文字入力エリア

入力した文字が表示されます。文字入力を終了すると、ここに表示されている文字が登録されます。

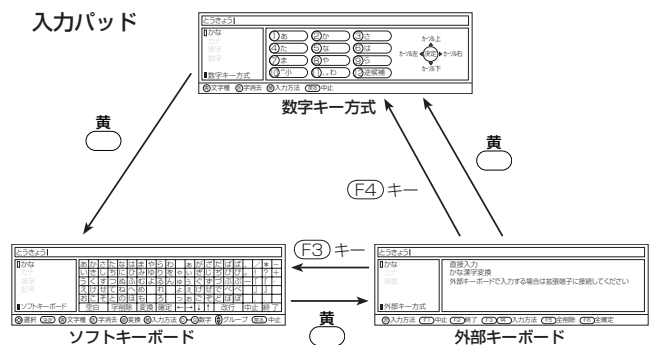
⑥ 文字パッド

入力できる文字が表示されます。表示内容は入力方式および文字の種類によって異なります。

入力方式の切り換えかた

本機では「数字キー方式」、「ソフトキーボード方式」、「外部キーボード方式」の3種類の入力方式で文字を入力することができます。入力方式は［黄］を押すたびに右図のように切り換わります。

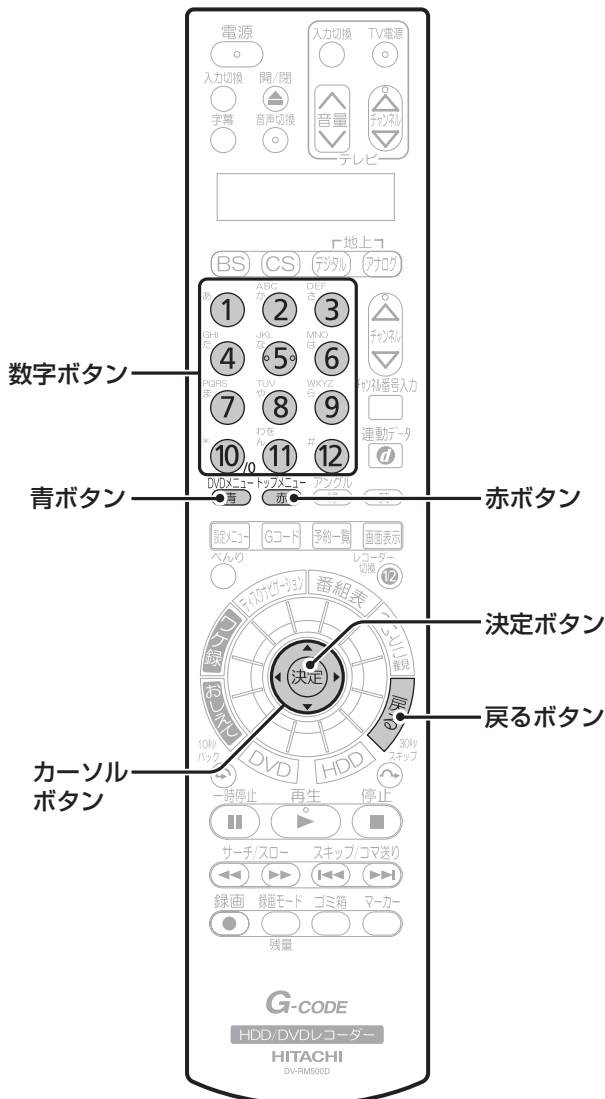
お知らせ

- 外部キーボード方式はDV-DH1000D/500D/250Dで選ぶことができます。

数字キー方式で文字を入力する

携帯電話と同じように、数字ボタンを押して文字を入力する方式です。
各数字ボタンで入力できる文字は以下のようになります。

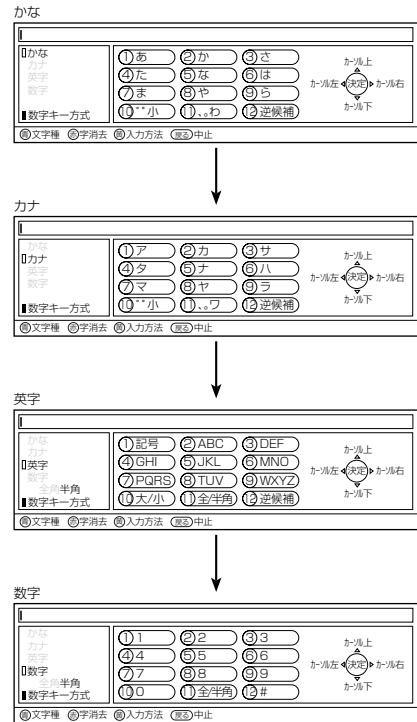
数字ボタンの文字割り当て表

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
かな	あいうえお ぁぃぅぇぉ	かきくけこ	さしすせそ	たちつてと っ	なにぬねの	はひふへほ	まみむめも	やゆよ ゃゅょ	らりるれろ	゛゜	わをん 、。 (空白) -	
カナ	アイウエオ ァィゥェォ	カキクケコ	サシスセソ	タチツテト ッ	ナニヌネノ	ハヒフヘホ	マミムメモ	ヤユヨ ャュョ	ラリルレロ	゛゜	ワヲン 、。 (空白) -	
英字	. @ ／ - _ , : ? ! ; (空白)	ABC	DEF	GHI	JKL	MNO	PQRS	TUV	WXYZ			
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		#

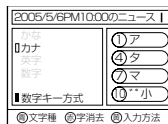
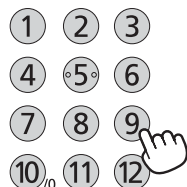
※かな・カナモードの場合、[⑩/o] で小文字に変換することができます。

■文字の種類を切り換える

数字キー方式の文字の種類には「ひらがな（かな）」、「カタカナ（カナ）」、「英字」、「数字」の4種類があります。漢字を入力するときは、文字の種類を「ひらがな（かな）」にしてください。

文字の種類は、[青／DVDメニュー] を押すたびに以下のように切り換わります。

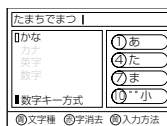
編集する

■文字を入力する

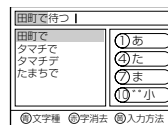
1 数字ボタンを押す

数字ボタンに割り当てられている文字が入力されます。数字ボタンを押すたびに、割り当てられている文字が切り換わります。

- 入力したひらがなを変換しない場合は、［決定］を押します。
- ひらがな、カタカナを入力して［10（゛゜小)］を押すたびに、濁点（゛）→半濁点（゜）→小文字→大文字の順に切り換わります。
- 英字を入力して［10（大／小)］を押すたびに、大文字と小文字が交互に切り換わります。
- 英字、数字の入力中に［11（全／半角)］を押すたびに、全角入力と半角入力が交互に切り換わります。
- ひらがな、カタカナ、英字の入力中に［12（逆候補)］を押すたびに、逆方向に文字が切り換わります。
- 同じ数字ボタンに割り当てられている文字を続けて入力するには、［カーソル▶］を押してから、もう一度同じ数字ボタンを押します。

■漢字に変換する

入力している文字の種類が「ひらがな（かな)」のときは、漢字に変換することができます。

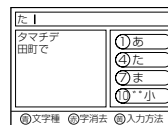
1 ひらがなを入力した後、［カーソル▼］を押す

漢字変換候補が表示されます。

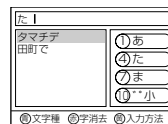
2 ［カーソル▲▼］で漢字変換候補を選び、［決定］を押す

選んだ漢字が入力されます。

- 漢字変換候補の表示中に［カーソル▲▼◀▶］を押すと、変換する範囲（文節）を変更できます。
- ［◀▶（逆候補)］を押すたびに、逆方向で漢字変換候補を選ぶことができます。
- ［戻る］を押すと、漢字変換候補が消え、変換前の状態に戻ります。

■予測変換候補を選ぶ

数字ボタンを押してひらがなを入力したとき、これまでに入力した文字列が予測変換候補として表示されることがあります。予測変換候補を選ぶと、すべての文字を入力しなくても、わずかなボタン操作で文字を入力できます。

1 予測変換候補が表示されたら、［カーソル▲］を押す

予測変換候補にカーソルが表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で予測変換候補を選び、［決定］を押す

選んだ文字が入力されます。

■入力した文字を消去する

1 **[カーソル▲▼◀▶］で消去したい文字の右側にカーソルを移動させる**

2 **[赤／トップメニュー］を押す**

カーソルの左側にある文字が消去されます。

■入力した文字を確定する

1 **必要な文字をすべて入力したら［決定］を押す**

入力した文字が確定され、文字入力パッドが消えます。

■文字の入力を中止する

1 **文字の入力中に［戻る］を押す**

文字の入力が中止され、文字入力パッドが消えます。入力途中の文字は消去されます。

お知らせ

● 入力できる文字数は、以下のとおりです。

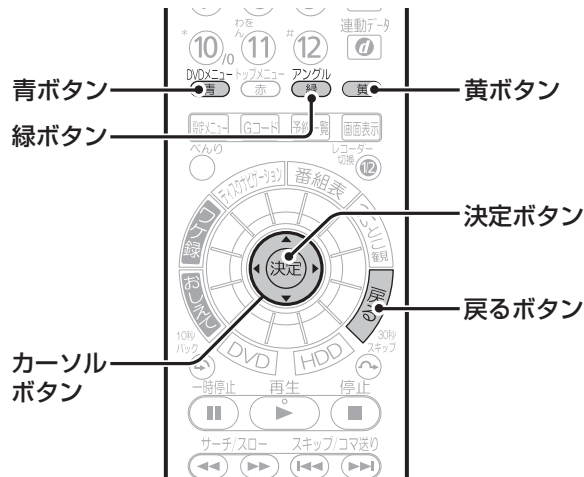
機　能	文字数（全角）※1	文字数（半角）※1
番組検索のキーワード入力（32ページ）	10	20
お気に入り自動録画のキーワード入力（70ページ）	8	16
プレイリストのタイトル入力（137ページ）	31	62
HDDからDVDへダビング時のディスクタイトル入力（115ページ）	31	62
番組のタイトル入力（HDD）（139ページ）	40	47※2
番組のタイトル入力（DVD）（139ページ）	28	47※3
ディスク管理時のディスクタイトル入力（141ページ）	31	62
フォルダ名入力（95ページ）	40	47※2

※1 表中の文字数は、すべて全角または半角で入力した場合の最大文字数となります。全角と半角が混在した入力の場合、入力できる文字数は少なくなります。

※2 文字の入力は、80文字まで入力できますが、保存されるのは、47文字までとなります。

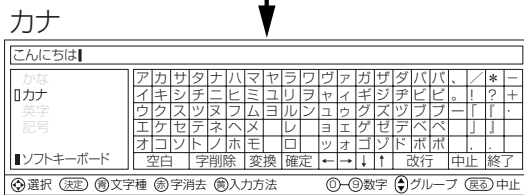
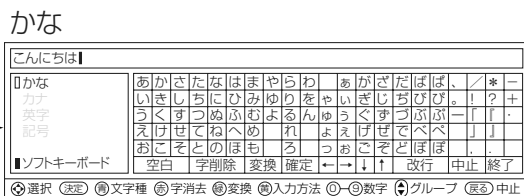
※3 文字の入力は、56文字まで入力できますが、保存されるのは、47文字までとなります。

ソフトキーボード方式で文字を入力する

画面に表示されるキーボードで入力する文字を選ぶ方式です。

■文字の種類を切り換える

ソフトキーボード方式の文字の種類には「ひらがな（かな）」、「カタカナ（カナ）」、「英字」、「記号」の4種類があります。漢字を入力するときは、文字の種類を「ひらがな（かな）」にしてください。

文字の種類は、［青／DVDメニュー］を押すたびに以下のように切り換わります。

編集する

■文字を入力する

1 ［カーソル▲▼◀▶］で入力したい文字を選び、［決定］を押す

選んだ文字が入力されます。

- 入力したひらがなを変換しない場合は、「確定」を選びます。
- 数字ボタンを押して数字を入力することもできます。
- 英字、記号の入力中に「全/半」を選ぶたびに、全角入力と半角入力が切り換わります。英字の入力中は、［緑／アングル］を押しても切り換えることができます。
- 記号の入力中に［緑／アングル］を押すと前のページに、［黄］を押すと次のページに切り換わります。文字パッドの「△」／「▽」を選ぶか、カーソルを移動させても切り換えることができます。
- ひらがな、カタカナ、英字の文字パッドには、グループを示す太線が表示されます。［チャンネル△▽］を押すたびに、カーソルがグループ単位で移動します。

■漢字に変換する

入力している文字の種類が「ひらがな（かな）」のときは、漢字に変換することができます。

1 ひらがなを入力した後、［緑／アングル］を押す

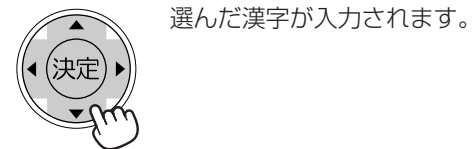
漢字変換候補が表示されます。

- 文字パッドの「変換」を選んでも、漢字変換候補が表示されます。

2 ［緑／アングル］を押して漢字変換候補を選ぶ

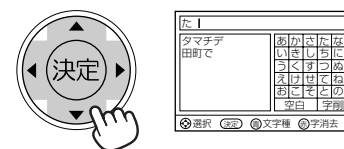
［緑／アングル］を押すたびに、漢字変換候補のカーソルが移動します。

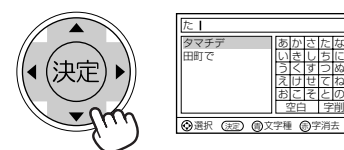
- 文字パッドの「↑」／「↓」／「変換」を選んでも、漢字変換候補を選ぶことができます。
- 漢字変換候補の表示中に「←」／「→」を選ぶと、変換する範囲（文節）を変更することができます。
- ［戻る］を押すと、漢字変換候補が消え、変換前の状態に戻ります。

3 ［カーソル▲▼◀▶］で「確定」を選び、［決定］を押す

選んだ漢字が入力されます。

■予測変換候補を選ぶ

ひらがなを入力したとき、これまでに入力した文字列が予測変換候補として表示されることがあります。予測変換候補を選べば、すべての文字を入力しなくても、わずかなボタン操作で文字を入力することができます。

1 予測変換候補が表示されたら、［カーソル▲▼◀▶］で「↓」を選び、［決定］を押す

予測変換候補にカーソルが表示されます。

2 ［カーソル▲▼◀▶］で「↑」／「↓」を選び、［決定］を押す

「↑」／「↓」を選ぶたびに、予測変換候補のカーソルが移動します。

3 入力したい予測変換候補にカーソルが表示されたら、[カーソル▲▼◀▶]で「確定」を選び、[決定]を押す

選んだ文字が入力されます。

■入力した文字を消去する

1 [カーソル▲▼◀▶]で「←」/「→」を選び、[決定]を押す

文字入力エリアのカーソルが左右に移動します。

2 手順1を繰り返して、消去したい文字の右側にカーソルを移動させる

3 [カーソル▲▼◀▶]で「字削除」を選び、[決定]を押す

カーソルの左側にある文字が消去されます。

• [戻る]を押しても消去することができます。

■入力した文字を確定する

1 必要な文字をすべて入力したら、[カーソル▲▼◀▶]で「終了」を選び、[決定]を押す

入力した文字が確定され、文字入力パッドが消えます。

■文字の入力を中止する

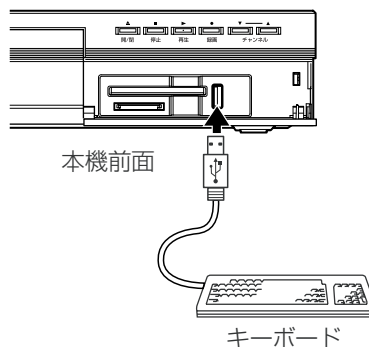
1 文字の入力中に、[カーソル▲▼◀▶]で「中止」を選び、[決定]を押す

文字の入力が中止され、文字入力パッドが消えます。入力途中の文字は消去されます。

お知らせ

● 記号の文字パッドには、本機で入力できるすべての文字を表示することができます。読みかたがわからない漢字を入力するときや他の入力方式で文字を入力できないときなどに使用すると便利です。

外部キーボード方式で文字を入力する(DV-DH1000D/500D/250D)

本機の拡張端子に接続した外部キーボードで文字を入力する方式です。

本機と接続しているときの動作を確認できている日立パソコンPrius同梱のUSBキーボードについては、下記ホームページのQ&Aのコーナーをご覧ください(動作確認できているUSBキーボードでも、正しく動作しないことがあります)。

● HITACHI AV-Worldホームページ
http://av.hitachi.co.jp/

本機の拡張端子に対応している市販キーボードは、下記のとおりです(推奨キーボード)。

● エレコム(株)製ロングケーブルUSBフルキーボード:TK-U89MPSV(生産終了品)、TK-U89MPLG(生産終了品)、TK-U89MPBK(生産終了品)
● (株)ロジクール製コードレスキーボード:CK-36(生産終了品)

「本機と接続できる拡張機器」(107ページ)もご覧ください。

■文字の種類を切り換える

外部キーボード方式の文字の種類には「ひらがな（かな）」、「カタカナ（カナ）」、「英数」の3種類があります。漢字を入力するときは、文字の種類を「ひらがな（かな）」にしてください。

文字の種類は以下のように切り換えます。

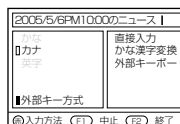
●ひらがな（かな）：カタカナキーを押す
●カタカナ（カナ）：Shiftキーを押しながらカタカナキーを押す
●英数：英数キーを押す

■文字の入力方法を切り換える

外部キーボード方式の入力方法には「直接入力」と「ローマ字入力」の2種類があります。「直接入力」とはキーボードに表示されているかな文字を直接入力する方法です。「ローマ字入力」とは、キーボードに表示されているアルファベットに従って、ローマ字読みでかな文字を入力する方法です。入力方法はCtrlキーを押しながらカタカナキーを押すたびに交互に切り換わります。

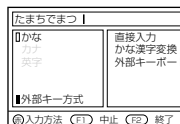
■文字を入力する

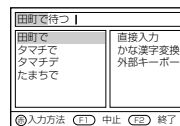
1 キーボードを押す

押したキーボードに割り当てられている文字が入力されます。

- 入力したひらがなを変換しない場合は、F6キーを押します。
- 英数の入力中に全角/半角キーを押すたびに、全角入力と半角入力が交互に切り換わります。

■漢字に変換する

入力している文字の種類が「ひらがな（かな）」のときは、漢字に変換することができます。

1 ひらがなを入力した後、変換キーを押す

漢字変換候補が表示されます。

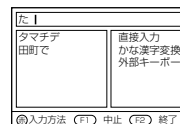
2 ↑／↓キーを押して漢字変換候補を選ぶ

- 漢字変換候補の表示中に←／→キーを押すと、変換する範囲（文節）を変更することができます。
- ESCキーを押すと、漢字変換候補が消え、変換前の状態に戻ります。

3 ENTERキーを押す

選んだ漢字が入力されます。

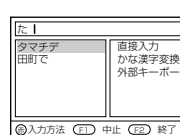
■予測変換候補を選ぶ

ひらがなを入力したとき、これまでに入力した文字列が予測変換候補として表示されることがあります。予測変換候補を選べば、すべての文字を入力しなくても、わずかなボタン操作で文字を入力することができます。

1 予測変換候補が表示されたら、↑／↓キーを押す

予測変換候補にカーソルが表示されます。

2 ↑／↓キーで予測変換候補を選び、ENTERキーを押す

選んだ文字が入力されます。

お手入れについて

■入力した文字を消去する

1 ←／→キーで消去したい文字の右側にカーソルを移動させる

2 Backspaceキーを押す

カーソルの左側にある文字が消去されます。

• 入力されているすべての文字を削除する場合は、F5キーを押します。

■入力した文字を確定する

1 必要な文字をすべて入力したらF2キーを押す

入力した文字が確定され、文字入力パッドが消えます。

■文字の入力を中止する

1 文字の入力中にF1キーを押す

文字の入力が中止され、文字入力パッドが消えます。
入力途中の文字は消去されます。

お知らせ

- キーボードで入力できない文字は、ソフトキーボード方式で入力してください。
- キーボードで文字を入力できなくなった場合は、一度本機の電源を切り、キーボードを接続したまま電源を入れ直してください。
- 推奨キーボード以外では、文字が入力できなくなったり、リモコンによる操作ができなくなったりすることがあります。
- JIS標準規格以外の専用キーは使用できません。

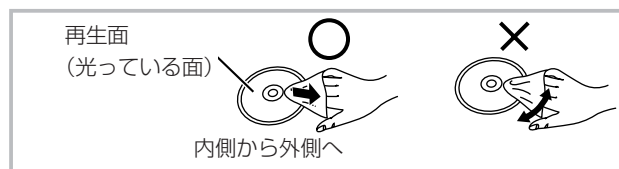
きれいな音声・映像をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

お手入れ

■ ディスクが汚れたときや、つゆがついたときは

DVD-RAM、DVD-R、DVD-RWは必ず専用のDVDディスククリーナー（市販）でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をお読みください。

●布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

DVDビデオ、CDは水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■ レンズクリーナーについて

●市販のレンズクリーナーはご使用しないでください。故障するおそれがあります。

■ 本体が汚れたとき

柔らかい布でふいてください。

●アルコールやシンナーは使わないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

●直射日光の当たるところ
●湿気やほこりの多いところ
●暖房器具の熱が直接当たるところ

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

音のエチケット
シンボルマーク

故障かな？と思ったら

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは､下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは､お買い上げの販売店やお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※アンテナ、テレビ、AVアンプなど、接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

おかしいな？と思ったときの調べかた

1 **まずは、次ページからの「こんなときは、ここをお調べください」をごらんになり、現在の症状と対応のしかたをお調べください。**

それでも直らないときは

2 **安全装置がはたらいている可能性があります。次の操作を行ってください。**

① 本機の電源を切ることができる場合は、本体前面の［電源］を押して本機の電源を切る

② 電源を入れて、動作を確認する

まだ不具合があるときは

3 **次の操作を行ってください。**

① 本体前面の［リセット］をボールペンなどの先で押す

② 電源を入れて、動作を確認する

ご注意

● 本機では、電源が切れるときにディスクの管理情報（一度電源を入れてから切れるまでの間に行った録画や編集の内容を管理するための情報）を更新するようになっています。
［リセット］を押したときは管理情報が更新されないため、一度電源を入れてから切れるまでの間に行った録画や編集の内容は消えてしまう場合がありますので、お気を付けください。

それでも、まだ不具合があるときは

4 **電源プラグをコンセントから抜いて、10分以上待ってから、もう一度電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてお試しください。**

それでも、まだ不具合があるときは

5 **本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店かお客様ご相談窓口にご連絡ください。**

■［リセット］を押した後の本機の設定状態について

●設定が消える場合があるもの
－番組表の内容（再度放送を受信すれば表示されます。）

●設定がクリアされるもの
－時計（デジタル放送を受信すれば、自動で設定されます。デジタル放送を受信されていない場合は、『接続・設定編』の64ページの手順で、時計を合わせ直してください。）

●上記以外は、設定状態を記憶しています。

こんなときは、ここをお調べください

本体・リモコン操作

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。 操作ができない。	●電源プラグがはずれている。 ●停電で電源が切れている。 ●静電気など外部からの影響を受けている。 ●過大な静電気や落雷による電源電圧などの異常を受けたり、誤った操作をしたりしたため、本機が操作を受け付けなくなった。 ●何らかの理由で本機が操作を受け付けなくなった。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ●安全保護装置が働いていることがあります。このとき、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください。 ●本機を外部からの影響を受けない場所に置いてください。 ●本体前面左側フタの中にあるリセットボタンを先の細いもので押してください。(8ページ)。 なお、リセットボタンを押しても録画した番組、録画予約、チャンネル受信設定は消えません。
本体表示窓に「R-1」「R-2」「R-3」が表示される。	他の機器のリモコンを受信しています。故障ではありません。	
	●本体とリモコンのリモコンコードが合っていない。	●本体とリモコンのリモコンコードを合わせてください。(『接続・設定編』62ページ参照)
リモコンで操作できない。	●リモコンコードが合っていない。 ●リモコンが本体の受光部に向いていない。 ●リモコンと本体が離れすぎている。 ●リモコンと本体の受光部の間に障害物がある。 ●リモコンの乾電池が消耗している。 ●リモコンに水など水分を含む物をこぼした。 ●製品本体のリモコン受光部不良の可能性がある。	●リモコンと本体のリモコンコードを合わせてください。 ●リモコンを本体受光部に向けてください。 ●7m以内の所で操作してください。 ●障害物を取り除いてください。 ●乾電池を交換してください。 ●リモコンの交換が必要です。お近くの販売店にご相談ください。 ●ラジオを利用し、次のようなチェックを行ってください。AM放送で放送局のない周波数(雑音の出る状態)に合わせ(音量は大きめ)、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきたらリモコンは正常です。**お近くの販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。**
時計表示が出ない。(表示例)--:--	●停電があった。 ●電源プラグがはずれている。	●電源を入れ、時計を合わせ直してください。 ●電源プラグをコンセントに差し込み、時計合わせをやり直してください。
地上デジタル放送の番組表(EPG)が表示されないチャンネルがある。	●しばらく受信していないチャンネルの番組表は表示されなくなる。	●そのチャンネルの放送を数分間視聴すれば表示されるようになります。
電源オン時に本体表示窓に表示される「HELLO」の表示回数が多いときがある。	●HDDのチェックをしている。	●異常ではありません。表示回数は録画時間によって変わる場合があります。
待機時に本体の表示窓に「EXT」と表示される。	●「外部設定」の「外部入力自動録画」が「入」になっている場合、本体の表示窓に「EXT」と表示される。	●外部入力自動録画を解除するには「外部入力自動録画」を「切」にしてください。
ピッという操作音が鳴らない。	本機では操作音を出すことができません。	
時計の表示が実際の時刻とずれる。	ときどき電源を入れてください。	
番組表(EPG)が表示されない。	●番組表が1週間分完全に受信されていない場合、電源を入れた際に番組表がいったんクリアされます。	●BSデジタルの場合、任意のチャンネルを数分間視聴して番組表を1週間分受信してください。地上デジタル放送の場合、すべてのチャンネルを数分間ずつ受信して番組表を1週間分受信してください。また、本機は午前1:30ごろに全チャンネルの番組表を自動的に受信します(午前1:00〜2:00の間に録画予約がない場合)。
番組表のBS/CS/地上デジタルの放送局ロゴ(マーク)が実際と異なる。	午前1:00〜2:00の間に録画予約を行なわずに、本機をスタンバイ状態にしておくと、午前1:30ごろに放送局のロゴ(マーク)のデータが自動的に受信されます。	
リモコンの液晶表示がおかしい。全部の文字が点灯していたり、放送切り換え操作に反応しない。	リモコンの電池を外して、リモコンの任意の1つのボタンを1回押してから、電池を入れ直してください。リモコンコードが1に戻りますので、リモコンコードを2または3でお使いになっていた場合は、リモコンコードを合わせ直してください。	

接 続

症　状	原　因	処　置
画像が出ない。	●映像接続コードがはずれている。 ●違う種類のディスクが入っている。 ●ビデオやビデオ内蔵テレビと接続しているため、コピーガード機能が働いている。	●映像接続コードをしっかり接続してください。 ●DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽用CD以外の物が入っていないか確認してください。 ●本機とテレビを直接接続してください。 ●テレビとHDMI接続している場合は、一度本機とテレビ両方の電源をオフ・オンしてください。
音声が出ない。	●音声接続コードがはずれている。 ●音声出力に関する機能が正しく設定されていない。 ●本機と接続しているオーディオ機器の電源が入っていない。 ●本機と接続しているオーディオ機器の入力切り換えが正しくない。 ●DTS音声を再生している。	●音声接続コードをしっかり接続してください。 ●音声出力に関する機能を正しく設定してください。 ●本機と接続しているオーディオ機器の電源を入れてください。 ●本機と接続しているオーディオ機器の入力切り換えを正しく行ってください。 ●DTS音声を再生するときは、デジタル音声出力端子をご使用ください。 ●テレビとHDMI接続している場合は、一度本機とテレビ両方の電源をオフ・オンしてください。また、「各種設定」の「デジタル音声出力」が「PCM」になっているか確認してください。
再生時、音が出ない。	●外部入力録画で、音声信号が入力されていなかった。	●外部入力の音声入力が正しく接続されているか確認してください。
映像が乱れる。	●ビデオやビデオ内蔵テレビと接続しているため、コピーガード機能が働いている。 ●早送り、早戻しをした直後である。 ●携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している。	●本機とテレビを直接接続してください。他のテレビと直接接続してください。 ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。 ●本機から離して使用してください。
メニュー表示などが乱れて表示されない。画面切換時に映像が乱れる。	●D映像出力端子にケーブルを接続した場合、映像出力1/2およびS1/S2映像出力信号は、正しく出力されません。	●D1/D2映像入力端子付きテレビに接続する場合、D端子接続をいったん外して、『接続・設定編』の「S映像端子と接続する場合」（27ページ）の接続と設定を行ってください。 ●D映像入力端子のないテレビの場合は、上記と同様の接続を行ってください。
ファンが停止しない。	電源が入っている間はファンモーターが常に動作しています。故障ではありません。	
電源を切ってもファンの動作音がする。	次のようなケースでは、電源を切っていても、ファンモーターが動作します。故障ではありません。 ●「ダビング実行中」、「予約録画中」の間。 ●有料チャンネルの契約情報更新が行われた場合、約2時間以上。 ●「外部設定」の「i.LINK待機」が「する」の場合。 ●「高速起動」が「する」の場合。 ●デジタル放送の番組表データを受信しているとき。（深夜1:30に自動受信します。）	
光デジタル接続時、音声切り換えができない。	●音声を光デジタル出力端子で接続している場合、放送がAACだと音声切り換えができない。	●接続しているアンプ側で切り換えて頂くか、音声の出力モードを「PCM」に切り換えてください（147ページ）。「PCM」モードでは音声は2チャンネルになります。
LAN端子に接続しても、DHCPサーバからのIPアドレス取得が行われない。	●地上デジタル放送のデータ放送サービスでインターネットを経由したサービスが操作されるまで、IPアドレスの取得は行われません。	
4：3放送がワイドテレビで横長に表示され、テレビ側でワイドモードを変更できない。	●「固定：1125i」設定時の制限です。	●『接続・設定編』41ページをご覧ください。
画面の上下左右に黒帯が表示される。	●TV接続設定がお使いのテレビにあっていない。	
ワイド放送が上下方向に縮んで表示される。		
デジタル放送で受信できないチャンネルがある。	●有料放送である。	●WOWOWやスカパー！など、デジタル放送の中には有料のものもございます。詳しくは各放送局にお問い合わせください。
	●アナログ放送用の受信設備（アンテナ、ブースター、分配器など）を使用している。	●デジタル放送に対応した受信設備を使用してください。
地上デジタル放送が時々受信できなくなる。	●受信レベルが強すぎる。（おおむね85以上の場合）	●市販のブースターをお使いの場合は、ブースターを外してください。 ●市販のアッテネーター（減衰器）を使って電波の入力を弱めてください。
	●地上デジタル放送のエリア内とエリア外の境界付近で使っている。	●異常ではありません。
テレビのチューナーでは、有料放送を受信できるが、本機のチューナーでは受信できない。	●有料放送の契約はB-CASカードごとに必要です。	●テレビでご使用のB-CASカードを本機のB-CASカード挿入口に挿入するか、それぞれのB-CASカードで有料放送を契約してください。（この場合、それぞれに契約料が発生します。）
音声と映像のタイミングがわずかにずれている。	●D端子およびHDMI端子の映像・音声は、デジタル処理のため他の出力端子よりタイミングがわずかに遅れている。	●対応した音声出力端子を使用してください（『接続・設定編』26ページ）。

接　続

症　　状	原　　因	処　　置
一部の操作画面（メニューなど）が表示されない。	●D端子またはHDMI端子と、映像出力端子を同時に接続している。	●異常ではありません。D端子またはHDMI端子接続時は、他の映像出力端子には一部の操作画面が表示されません。
D端子またはHDMI端子から映像が出力されない。	●D映像出力端子とHDMI端子を同時に接続している。	●同時に出力はできません。
	●出力先が異なっている。	●リモコンの［決定］を押しながら［入力切換］を押してD端子出力とHDMI出力を切り換えてください。
映像と異なる音声が出る。	●D端子と出力1の音声端子を使って接続している。	●D端子に対応した「D端子音声出力」に接続してください。
HDMI端子から音声が出力されない。	●HDMI端子からはAAC音声、ドルビーデジタル音声、DTS音声を出力することはできません。	●デジタル放送の視聴またはTSモードでの録画・再生の場合は「各種設定」-「デジタル音声出力」の設定を「PCM」に切り換えてください（147ページ）。市販DVDソフトの再生の場合は「HDD-DVD設定」-「DVD専用設定」-「デジタル音声出力」の設定を「ダウンミックス」に切り換えてください（146ページ）。ただし、上記の設定を行うと、本機の光出力端子から出力される音声はL/R 2チャンネル音声となります。テレビへのHDMI接続と光出力端子から接続したアンプへの5.1チャンネル音声出力を両立するには、本機の音声出力端子（アナログ）をテレビのHDMI入力端子と同じ入力系統に接続し、「各種設定」-「デジタル音声出力」の設定を「AAC」に、「HDD-DVD設定」-「DVD専用設定」-「デジタル音声出力」の設定を「ビットストリーム」に設定してください。（ただしテレビ側にHDMI端子の映像とアナログ音声端子からの音声を同時に出力できる機能が付いている必要があります。）

DVD操作

症　　状	原　　因	処　　置
DVDの操作ができない。	●録画、再生できないディスクが挿入されている。	●録画、再生できるディスクを挿入してください。
再生が始まらない。	●結露が発生している。 ●ディスクが入っていない。 ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクが汚れている。 ●視聴制限が有効になっている。	●電源を入れたまま、しばらく放置してください。 ●ディスクを入れてください。 ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直してください。 ●ディスクを清掃してください。 ●視聴制限を解除するか、制限レベルを変更してください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	●初期設定で選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない。	●その音声言語や字幕言語が記録されているか確認してください。
アングルを変えて見ることができない。	●複数のアングルが記録されていない。	●複数のアングルが記録されているか確認してください。
音声言語、字幕言語の切り換えができない。	●複数の音声言語、字幕言語が記録されていない。 ●DVDの仕様によっては操作方法が異なる場合があります。	●その音声言語や字幕言語が記録されているか確認してください。 ●ディスクメニューから音声言語、字幕言語を選択してください。
テレビ画面に“⦸”が表示され、操作できない。	●本機またはディスクがその操作を禁止しています。	●故障ではありません。
再生中に画像が動かなくなる。	●ディスクが汚れている。 ●2層ディスクが1層から2層に切り換わった。 ●ディスクにキズがある。 ●ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない。	●ディスクを清掃してください。 ●停止ボタンを押してから、再生ボタンを押してください。 ●電源プラグをコンセントから抜き再度接続して再生してください。 ●映像が止まることがありますが、故障ではありません。
DVDに録画やダビングができない。	●「1回だけ録画可能」な番組（デジタル放送）をDVD-RWまたはDVD-Rにビデオフォーマットで録画しようとしている。	●CPRMに対応したディスクを使用してください。DVD-RW、DVD-Rの場合はVRフォーマットで初期化してください（142ページ）。
DVDに録画やダビングをしたディスクが他のプレーヤーやパソコンで再生できない。	●DVD-RW、DVD-Rの場合、ファイナライズをしていない。	●ファイナライズしてください（143ページ）。
	●DVDプレーヤーがお使いのディスクの種類（DVD-RAM, DVD-RW, DVD-R）に対応していない。	●DVDプレーヤーが対応しているディスクを使用してください。
	●DVDプレーヤーがVRモードの録画に対応していない。	●VRモードの再生に対応したDVDプレーヤーで再生してください。
	●お使いのパソコンのDVDドライブおよびDVD再生ソフトウエアがCPRMに対応していない。	●CPRMに対応したDVDドライブおよびDVD再生ソフトを使用してください。
ディスクナビゲーションが使えない。	●ファイナライズしたビデオフォーマット（VF）のDVD-RまたはDVD-RWディスクを使っている。	●ディスクの録画番組一覧を表示するには、ディスクを再生中にリモコンの［青／DVDメニュー］を押してください。

DVD操作

症　状	原　因	処　置
録画してあるディスクなのにフォーマットを要求する画面が出る。	ディスクの記録面の汚れを確認し、ディスクをセットし直してください。	
DVDに録画した番組をディスクナビゲーションから再生する場合、一度も見たことがない番組でも「続きから再生」が選択できる。	DVDに録画した番組は一度も見たことがない番組かどうかの区別はなくなりますので、一度も見たことがない番組で「続きから再生」を選んだ場合は、先頭から再生します。	
DVDに録画した番組をディスクナビゲーションで表示すると、複数の同じサムネイルができている。	ディスクにゴミや傷などの録画できない部分があると、いったん自動で録画を中止し、そこを避けて再度録画することがあります。（本体表示窓のカウンターがいったん停止し、自動的にゼロから録画を再開します。） この場合、1回の録画で複数の同じサムネイルができます。	

HDD操作

症　状	原　因	処　置
録画ができない。	●HDD（ハードディスク）の残量が足りない。 ●録画済みタイトル数が999（上限）になっている。 ●他の番組を録画中である。 ●録画が禁止された番組を録画しようとした。	●ゴミ箱を空にしてください（123ページ）。 ●不要な録画済み番組を消去してください。 ●他の番組の録画が終了もしくは中止してから録画してください。 ●録画が禁止されている番組は録画できません。 ●「HDD初期化」を行ってから動作を確認してください。（録画済み番組はすべて消去されますのでご注意ください。）
	●ゴミ箱に番組が入っている。またはゴミ箱に「HDDの残量を確保するには、ゴミ箱を空にしてください」という赤文字の表示がある。	●ゴミ箱を空にしてください（123ページ）。
同時録画ができない。	●すでに録画中のレコーダーを選択した。 ●一方で高速ダビング中に同時録画しようとした。	●[レコーダー切換]を押してレコーダーを切り換えてください。 ●高速ダビング中は同時録画できません。高速ダビングが終わってから操作してください。
録画が途中で止まる。	●HDD（ハードディスク）の残量が足りない。 ●録画済みタイトル数が999（上限）になっている。 ●途中から、録画が禁止された番組に切り換わった。 ●録画中に電源プラグ抜けや停電があった。	●不要な録画済み番組を消去してください（121、123ページ）。 ●録画が禁止されている番組は録画できません。
録画予約登録ができない。	●HDD（ハードディスク）の残量が足りない。 ●録画済みタイトル数が999（上限）になっている。 ●未契約の番組や、録画が禁止された番組を録画しようとした。	●不要な録画済み番組を消去してください（121、123ページ）。 ●未契約の番組や録画が禁止されている番組は録画できません。
Gコード予約ができない。	●地域番号が正しく設定されていない。 ●時刻設定をしていない。（デジタル放送を受信しない場合）	●地域番号を正しく設定してください。 ●デジタル放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの1つ以上）を受信してください。デジタル放送を受信すると時刻情報は自動的に設定されます。デジタル放送を受信しないで使用される場合は、時刻設定をしてください。
外部入力録画ができない。	●録画制限された番組を録画しようとした。	●録画制限された番組は録画できません。
録画停止ができない。	●予約録画中に［停止］による録画停止をしようとした。	●べんりメニューの「予約録画中止」を選択してください。
再生できない。	●録画時の異常などにより、正常録画されてなかった番組を再生しようとした。	●正常に録画できなかった番組は再生できません。再生できない録画番組は消去してください。
再生画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出るときがある。	以下の場合に発生する場合がありますが、故障ではありません。 ●元の映像にブロックノイズがある場合 ●天候などにより、受信環境が悪化した場合 ●録画モードが長時間モード（LP、EP）になっている場合 ●画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ●DVD再生の場合は、再生しているディスクにキズ、汚れが無いか確認してください。 ●HDDの物理エラーによる場合 (録画モードや録画内容によらず、大量にブロックノイズが発生する場合は、HDDの故障の場合があります。そのような場合は、当社お客様相談窓口までご相談ください。）	
音声や字幕が切り換わらない。	●ビデオフォーマットのDVD-RWまたはDVD-Rに録画した。 ●DVD-Video互換モードを「入」に設定した状態で録画した。	●「二重音声を切り換えられるように録画するには」（55ページ）、「二重音声の切り換えについて」（102ページ）をご覧ください。

HDD操作

症　　状	原　　因	処　　置
ダビングができない。	●「１回だけ録画可能」の録画番組をダビングしようとした。	●「１回だけ録画可能」の録画番組はダビングできません。HDD内の録画番組が消去され、ダビング先に「移動（ムーブ）」します。
録画番組をゴミ箱に移動できない。	●プロテクト（保護）されている録画番組をゴミ箱に移動しようとした。	●プロテクト（保護）されている録画済み番組をゴミ箱に移動する場合は、プロテクト（保護）を解除してから消去してください。
HDDの残量が増えない。	●不要な録画番組をゴミ箱に移動したが、ゴミ箱の中身を消去していない。	●ゴミ箱の中の不要な録画番組を消去してください。
録画した番組が消えた、または何も録画されていない。	●録画予約が更新録画となっていた。 ●予約録画実行時、受信障害や放送休止（放送録画の場合）になっていた。または、信号が入力されていなかった（外部入力録画の場合）。 ●録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	●消去したくない録画番組は、保護（プロテクト）してください。 ●正常に受信できない場合や休止中で放送されていない場合は録画できません。外部入力録画で外部入力信号が入力されていない場合も録画できません。放送状況、外部入力状況を確認してみてください。 ●録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどでHDD録画や再生時に電源が切れると、録画番組が消えたりすることがあります。消えた番組は補償されません。
録画した番組がすべて消えた。	●録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	●録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどでHDD録画や再生時に電源が切れると、録画番組が消えたり、HDD録画や再生ができなくなることがあります。消えた番組は補償されません。
ディスクナビゲーションで ・黒いサムネイルの録画番組がある。 ・サムネイルが動画にならない。また、音声も出ない。	●録画中である。	●録画終了後に再度ディスクナビゲーション画面にすると、サムネイルが表示されます。
放送時間の変更に追従しない。	放送時間の変更が行われる3分前までに放送局から延長信号が送信されない場合、放送時間の変更には追従できません。（放送局からの延長信号はEPGとは別に送信されますので、EPGの内容と延長の内容は異なる場合があります。）	
TSモードで録画した番組の「番組情報」が、放映時より短くなっている。	本機の録画方式の関係上、「番組情報」が縮められて記録される場合があり、故障ではありません。	
Ｇコード予約で目的と違うチャンネルが入力されてしまう。	●各地のテレビ局で番組編成が異なっていたり、一部の地域では異なる放送局の番号に同じＧコード番号が掲載されている場合があります。	●予約設定画面でチャンネルを修正してください（63ページ）。
プレイリストをムーブできない。	「1回だけ録画可能」な番組が含まれるプレイリストは、ムーブできません。	
字幕を入れた覚えがないのに入ってしまう。	録画予約で「字幕あり」で録画されたあとは、字幕は「入」のままになっています。手動で「字幕なし」に設定してください。（その後「字幕なし」の録画予約が実行されても、字幕の設定は「なし」になります。）	
一瞬画面が黒くなり「HDD準備中です」と表示されるが、その後使用できるようになる。	本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれておりますが、一時的に予期せぬ誤動作が発生する場合があります。その際に本機は自動的に内部リセットをし、左記のように動作することがあります。（録画中の場合は、録画が停止します。）	

お知らせ

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

ディスクの取り出しかた

本機からディスクが正常に取り出せなくなった場合は、次の手順でディスクを取り出してください。

1 電源ボタンを押して、本機の電源を切る

2 ［開/閉］を押す
・完全にファンが止まっているか確認してください。

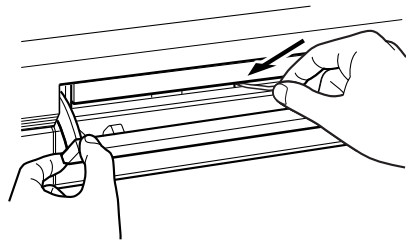
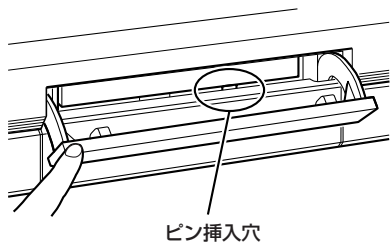
■上記の方法でもディスクが取り出せない場合

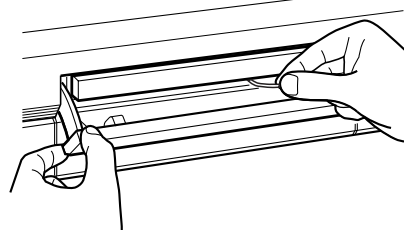
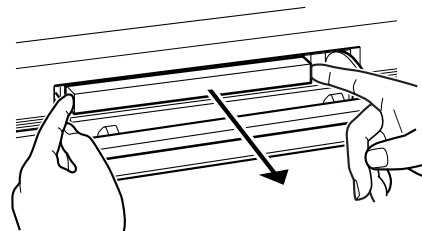
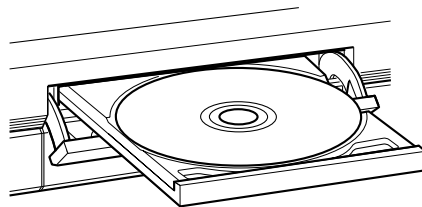
修理、アフターサービスご相談窓口へお問い合わせください。
・TEL　0120－3121－68
・FAX　0120－3121－87

■本機の中のディスクを急いで取り出したい場合

次の手順でトレイを強制イジェクトし、ディスクを取り出してください。

1 本機の電源を切り、コンセントを抜く

2 DVDドアを手で開け、右図の詳細に示す位置にピン（クリップを伸ばした物等）を差し込んでください

• DVDドアは、粘着テープなどを貼り付けて引っ張ると、簡単に開くことができます。

3 ピンを強く押し込むと、「ゴトゴト」と音がして、トレイが少し出てきます

4 トレイの両側から指で挟み、トレイを少し引き出してください

5 トレイを完全に引き出して、ディスクを取り出してください

テレビ画面に表示されるメッセージ

本機ではデジタル放送のとき、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容または対処のしかた
選局中です。しばらくお待ちください	選局動作に少し時間のかかる場合もあります。
このチャンネルはありません コード：E204	選局したチャンネルでは、放送が行われていません。
現在、この放送は休止しています コード：E203	選局したチャンネルでは、現在、番組を放送していません。他のチャンネルをご覧ください。
アンテナ接続か放送電波に不具合があるため現在、ご覧になれません コード：E202	●アンテナの調整が正しくできているか、またアンテナ線が正しく接続されているかを、『接続・設定編』の「アンテナを接続する」（20ページ）をご覧になり確認してください。 ●放送局の整備などで電波が停止していることもあります。 ●雷雨や豪雨のような気象条件により、受信できなくなることがあります。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。 （チャンネル切り換え時に一瞬表示される場合がありますが、異常ではありません。）
受信レベルが低下しています コード：E201	雨などの影響で衛星からの電波が弱くなり、降水対応放送に切り換わりました。天候などが回復すれば自動的に元の放送に戻ります。 地上デジタル放送の場合は、一時的に受信レベルが低下します。
コンバーター電源の保護が働いています 電源プラグを抜きアンテナ線を外して、アンテナ線とアンテナが異常ないか確認ください コード：E209	アンテナのコンバーター電源がショートしています。『接続・設定編』の「アンテナを接続する」（20ページ）をご覧になり、アンテナやアンテナ線に問題がないか確認してください。
未対応のサービスタイプを受信 コード：E210	本機の対応していないサービスを選局しました。他のチャンネルを選局してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません コード：E200	このチャンネル（番組）は、本機では視聴することができません。
ICカードを正しく挿入してください	B-CASカードが本体に正しく挿入されているか確認してください。
このICカードは使用できません 正しいICカードを挿入してください	B-CASカード以外のICカードが挿入されているか、カードの表裏が逆に挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。
ご購入できる時間は終了しています	番組によっては、購入できる時間が限られていることがあります。他の時間帯で放送される番組をお選びください。
電話回線をご確認のうえご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	視聴履歴がいっぱいの状態で新しい番組を購入しました。
このチャンネルはご契約されていません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	ご契約しているチャンネルか確認してから、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
契約期限が切れています ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	ご覧のチャンネルの契約内容を確認してから、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このチャンネルはご覧になれません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	●エラーコードがA103、8901、8501、8301のいずれかの場合 ご契約したチャンネルか確認してから、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 ●エラーコードが8902、8502、8302のいずれかの場合 ご覧のチャンネルの契約内容を確認してから、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 ●エラーコードが8903、8503、8303のいずれかの場合 選択した番組は視聴制限が設定されています。視聴制限が設定された番組を視聴、購入するには、暗証番号の入力が必要です。
ICカードの交換が必要です ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	B-CASカードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このICカードは使用できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	B-CASカードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このICカードではご覧になれません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	IDが不整合なB-CASカードが挿入されています。

メッセージ	内容または対処のしかた
お客様が居住されている地域ではご覧になれません	視聴できる地域が指定されている番組を対象外の地域で受信しました。
この受信機ではご覧になれない番組です コード：E401	本機の対応していないデータ放送を受信しました。
データ放送が受信できません コード：E400	データが存在しないデータ放送を表示しようとしました。
データ放送が受信できません コード：E402	データが欠落しているデータ放送を表示しようとしました。
解像度制限によりハイビジョン表示できません 設定を変更してください	「HDMI/D端子出力設定」が「D3固定」の場合に、アナログ出力解像度制限の番組を受信しました。または著作権保護によりハイビジョンで再生できない録画番組を再生しようとしました。 「HDMI/D端子出力設定」の設定を変えるか、ビデオ出力で接続してください。
回線が接続できません	回線設定に誤りがあります。
HDDの残量がなくなりました　ゴミ箱に番組がある場合には、ゴミ箱を空にすると残量が増えます	HDDの残量がなくなっています。不要な録画済み番組を消去してください。
HDDの残量がなくなりました 録画を停止しました　ゴミ箱に番組がある場合には、ゴミ箱を空にすると残量が増えます	録画中にHDDの残量がなくなりました。不要な録画済み番組を消去してください。
HDDの残量が少なくなりました　ゴミ箱に番組がある場合には、ゴミ箱を空にすると残量が増えます	HDDの残量が残り少なくなっています。不要な録画済み番組を消去してください。
録画時間が9時間をこえましたので録画を停止しました	連続9時間以上録画しようとしました。1回の録画時間は9時間以内にしてください。
HDDの残量が不足しています　ゴミ箱に番組がある場合には、ゴミ箱を空にすると残量が増えます	不要な録画済み番組を消去して、HDD容量を確保してください。
消去しています しばらくおまちください	録画番組を消去しています。メッセージが消えてから操作してください。
録画中・再生中は操作できません	他のチャンネルに切り換えようとしました。録画中にチャンネルを切り換えるには、［レコーダー切換］を使ってレコーダーを切り換えてください。再生中は他のチャンネルに切り換えることはできません。
レコーダーが使用中です	選んだレコーダーが録画中です。[レコーダー切換]を使ってレコーダーを切り換えてください。
ダビング中です	レート変換ダビング中に選局やその他の操作をしました。レート変換ダビング中は選局やその他の操作はできません。
ダビング中は操作できません ダビングを中止するには［べんり］［ダビング中止］を押してください	ダビング中に選局やその他の操作をしました。ダビング中は選局やその他の操作はできません。
ダビングを中止しました	ダビング処理中止の操作などにより、ダビング処理を中止しました。ダビング処理を再開するときは、はじめからダビングをやり直してください。
移動を中止しました	移動処理中止の操作などにより、移動処理を中止しました。
これ以上録画できません 録画番組を消去してください	録画済み番組数が上限（999）になりました。不要な録画済み番組を消去してください。
番組がコピーガードされています 録画できません	コピーガードがかかっている番組を録画しようとしました。コピーガードのかかっている番組(外部入力含む)は録画できません。
HDDの準備中です しばらくおまちください	HDDの立ち上げ中にHDDを操作しようとしました。しばらく待ってから操作をしてください。
HDDにアクセスできません(1) HDDにアクセスできません(2)	録画・再生以外でHDDを操作できなかった場合に表示されます。繰り返し表示される場合は、本機の電源プラグを抜いて、10分以上経過してから再度電源プラグを差し込んでください。
HDDにアクセスできません 再生を停止しました	再生中にHDDを操作できなくなった場合に表示されます。繰り返し表示される場合は、本機の電源プラグを抜いて、10分以上経過してから再度電源プラグを差し込んでください。
HDDにアクセスできません 録画を停止しました	録画中にHDDを操作できなくなった場合に表示されます。繰り返し表示される場合は、本機の電源プラグを抜いて、10分以上経過してから再度電源プラグを差し込んでください。
HDDを初期化できません	HDDの初期化に失敗しました。本機の電源プラグを抜いて、10分以上経過してから電源プラグを差し込み、もう一度HDDの初期化を行ってください。
DVDへの録画はレコーダ1で予約してください	レコーダ2ではDVDへ録画できません。
地上アナログ放送はレコーダ1で予約してください	レコーダ2では地上アナログ放送を受信できません。
録画予約準備中です	録画予約準備中のため、一時的に操作できません。 録画が始まるまで、そのままお待ちください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源：AC 100 V ±10 %、50/60 Hz ±0.5 %

消費電力：

		DV-DH1000D	DV-DH500D	DV-DH250D	DV-DH160D
動作時		約64W	約59W	約49W	約49W
待機時	高速起動設定時	約44W	約43W	約42W	約41W
	表示点灯時（FL省電力：しない）	約3.0W	約3.0W	約3.0W	約3.0W
	表示消灯時（FL省電力：する）	約1.9W	約1.9W	約1.9W	約1.9W

■**本体外形寸法**
約幅432 mm×**高さ**69 mm×**奥行**300 mm

■**本体質量**　DV-DH1000D/500D：約6.0 kg
DV-DH250D/160D：約5.2 kg

■**内蔵HDD容量**
DV-DH1000D ：1TB
DV-DH500D　：500GB
DV-DH250D　：250GB
DV-DH160D　：160GB

■**記録可能ディスク**
- DVD-RAM：
  Ver.2.0
  Ver.2.1/3x-SPEED DVD-RAM Revision 1.0
  Ver.2.2/5x-SPEED DVD-RAM Revision 2.0
- DVD-RW：
  Ver.1.1
  Ver.1.1/2x-SPEED DVD-RW Revision 1.0
  Ver.1.2/4x-SPEED DVD-RW Revision 2.0
  Ver.1.2/6x-SPEED DVD-RW Revision 3.0
- DVD-R：
  for General Ver.2.1
  for General Ver.2.1/4x-SPEED DVD-R Revision 1.0
  for General Ver.2.1/8x-SPEED DVD-R Revision 3.0
  for General Ver.2.1/16x-SPEED DVD-R Revision 6.0

■**記録方式**
DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R（CPRM対応）：
DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-RW、DVD-R：DVDビデオ規格準拠

■**DVDへの記録時間**
最大8時間(4.7 GBディスク使用時)
XP：約1時間　SP：約2時間
LP：約4時間　EP：約6時間（EP録画モード：6時間）
：約8時間（EP録画モード：8時間）

■**再生可能ディスク**
- DVD-RAM
- DVD-RW
- DVD-R
- DVD-Video
- 音楽用CD（CD-DA）
- CD-R/RW（CD-DAフォーマットのディスク）
- DVD+R（ビデオフォーマットファイナライズ済ディスク）
- DVD+RW（　〃　）

■**映像方式**
- **記録圧縮方式**　MPEG2(VBR)
- **入力(ピンジャック)**　1.0 Vp-p　75 Ω
- **S映像入力**　Y入力: 1.0 Vp-p　75 Ω
  C入力: 0.286 Vp-p　75 Ω
- **出力(ピンジャック)**　1.0 Vp-p　75 Ω
- **S映像出力**　Y出力: 1.0 Vp-p　75 Ω
  C出力: 0.286 Vp-p　75 Ω
- **D1/D2/D3/D4映像出力**
  コンポーネント映像出力　Y出力：1.0 Vp-p　75 Ω
  PB/CB出力：0.7 Vp-p　75 Ω
  PR/CR出力：0.7 Vp-p　75 Ω
- **HDMI映像･音声出力**　1系統（19ピン）
  (DV-DH1000D/500D/250D)
- **i.LINK端子（TS）**　2系統（入出力兼用）
  (DV-DH1000D/500D)

■**音声方式**
- **記録圧縮方式**　MPEG2 AAC、Dolby Digital (2ch記録)、リニアPCM（2ch）
- **アナログ入力(ピンジャック)**
  入力レベル：　309 mVrms
- **アナログ出力(ピンジャック)**
  出力レベル：　309 mVrms
- **デジタル出力**　光コネクター1
  (AAC、PCM、ドルビーデジタル、DTS対応)

■**映像方式**
アンテナ受信入力　VHF：1～12チャンネル
UHF：13～62チャンネル
CATV：C13～C63チャンネル
地上デジタル：000～999チャンネル
(CATVパススルー対応（UHF)）*
BSデジタル；000～999チャンネル
110度CSデジタル：000～999チャンネル（右旋円偏波）

＊CATVで地上デジタル放送をご利用の際は、UHF帯域で送信され、伝送方式がパススルー方式の場合に、本機でハイビジョン画質の映像やEPGなどデジタル放送特有のサービスを視聴したり、録画したりすることができます。ご利用のCATVの方式などについては、CATV会社や施設管理者にお問い合わせください。

■**許容周囲温度**　5 ～40 ℃
■**許容相対湿度**　10 ～80 %(**結露なきこと**)
■**時計部**　AM/PM12時間表示
■**予約番組数**　1ヶ月　42予約番組

■**内蔵HDDへの記録時間**

録画モード		画質（目安）	記録時間			
			DV-DH1000D	DV-DH500D	DV-DH250D	DV-DH160D
TS	BSデジタル（HD）	デジタルハイビジョン画質	約90時間	約45時間	約22時間	約13時間
	BSデジタル（SD）	デジタル標準画質	約270時間	約135時間	約67時間	約42時間
	地上デジタル（HD）	デジタルハイビジョン画質	約128時間	約64時間	約31時間	約20時間
XP		DVD画質	約220時間	約110時間	約55時間	約32時間
SP		S-VHS画質	約430時間	約215時間	約105時間	約65時間
LP		S-VHS画質	約870時間	約435時間	約215時間	約130時間
EP		VHS画質	約1340時間	約670時間	約330時間	約210時間
EP8		VHS3倍モード画質	約1700時間	約850時間	約430時間	約275時間

アスペクト比
テレビ画面（または映像信号）の横と縦の比をいいます。通常テレビは4：3、ワイドテレビ（ハイビジョンテレビ）は16：9です。

インターレース
飛び越し走査方式のことで、従来のテレビ放送（NTSC標準方式）で採用している走査方式です。走査線を1本おきに飛び越して表示し、2枚で1画面（フレーム）を見せる方式です。

限定受信システム
デジタル放送の受信機器に顧客・課金管理を行うICカードを搭載し、このICカードを通じてのみデジタル放送を受信できるようにするシステムです。

コピーガード
複製防止機能です。著作権保護のために、複製を制限する信号が記録されている番組は録画することができません。

コンポーネント信号
輝度信号（Y）と2つの色差信号（Cb/Pb, Cr/Pr)の信号に分離された映像信号です。DVDソフト、BS・CSデジタル放送などを高画質で楽しむことができます。

視聴制限
デジタル放送やDVDビデオソフトに設定されている、視聴者の年齢に合わせて視聴するための規制です。本機では、デジタル放送やDVDビデオソフトを視聴するための規制レベルを設定することができます。

ダイナミックレンジ圧縮
ノイズに埋もれない最小音と、音割れしない最大音との音量差を小さくすることです。音量が小さくてもセリフなどが聞きやすくなります。

ダウンコンバート
デジタル放送を「XP」、「SP」、「EP」、「LP」のいずれかの録画モードで録画するか、HDDに「TS」モードで録画した番組をDVDにダビングすると、NTSC信号（標準テレビ信号）に変換（ダウンコンバート）して録画されます。ダウンコンバート録画すると、複数の音声や映像で放送されている番組でも、現在選んでいる音声および映像だけで録画されます。

デジタルハイビジョン放送
2000年12月に本放送を開始したBSデジタル放送で行われる高精細度ハイビジョン放送です。現行のアナログハイビジョン放送と同等の高画質映像を楽しむことができます。
2003年12月から順次放送開始予定の地上デジタル放送でもデジタルハイビジョン放送を楽しむことができます。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果です。ドルビーデジタル（5.1ch）対応のオーディオ機器を本機に接続すると、映画館のような音響効果で再生を楽しむことができます。

ビスタサイズ
映像ソフト画面の横と縦の比が、16：9になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

ファイナライズ
本機で録画したDVD-RWやDVD-Rディスク（ビデオフォーマット）を他のDVDプレーヤーで再生できるよう処理することです（すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません）。ファイナライズすると再生専用ディスクとなり、録画や編集ができなくなります。（ただし、DVD-RWディスクはファイナライズをしても録画ができます。）

フォーマット
本機で録画や編集などを行えるようにDVDディスクを処理することです。
本機のフォーマット形式には「VRフォーマット」と「ビデオフォーマット」があります。
「VRフォーマット」のDVDディスクは、デジタル放送の録画やチャプター、プレイリストの作成など、本機の機能をフル活用することができます。ただし、互換性のない機器では再生できません。
「ビデオフォーマット」のDVDディスクは、他のDVDプレーヤーで再生することができます（すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません）。ただし、デジタル放送の録画やチャプター、プレイリスト作成などの編集機能を使用することができません。
フォーマットすると、それまでに記録した内容はすべて消去されます。

プログレッシブ
順次走査方式のことで、上から順に走査して表示する方式です。飛び越し走査方式に比べて、画面のチラツキ感の少ないきれいな映像を見ることができます。

ペイ・パー・ビュー
利用した分だけ料金を支払う有料番組です。事前に視聴契約をする「オーダー・エントリー・ペイ・パー・ビュー」と、番組を選択すると購入することができる「インパルス・ペイ・パー・ビュー」などがあります。

リージョン番号（リージョンコード）
世界の地域ごとにDVDビデオソフトとDVDプレーヤーに割り当てられる番号です。DVDディスクとDVDプレーヤーのリージョン番号が一致しないと、DVDディスクを再生できません。日本のリージョン番号は2です。

リニアPCM音声
音楽用CDに用いられている信号記録方式で、アナログ音声をデジタル音声に変換します。手軽にデジタル音声を楽しむことができます。

レート変換
録画した記録モードを変換します。長時間の録画番組をDVDにダビングするときに便利です。レート変換「XP」、「SP」、「LP」、「EP」モードのほかに、HDDからDVDへダビングするときに1枚のディスクに収まるよう自動的に録画モードを選ぶ「FR」があります。

ワイドクリアビジョン放送
ワイドクリアビジョン放送は現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ画面のワイド化と高画質化などが図られた新しいテレビジョン放送です。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮方式の1つです。地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うことができます。

CATVホームターミナル

CATVのスクランブルのかかった有料放送を視聴するための専用チューナーです。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

D端子（D映像端子）

デジタルチューナーなどのデジタル機器とテレビを接続するためのものです。コンポーネント映像信号を1本のケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。入力または出力できる信号の走査線数によりD1～D5に分類されます。本機はD4（525i, 525p, 1125i, 750p）に対応しています。

DCF規格

DCFとは「Design rule for Camera File system」の略で、デジタルカメラの統一フォーマットとして制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。

DTS

デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応のオーディオ機器を本機に接続すると、映画館のような音響効果で再生を楽しむことができます。

D-VHSビデオデッキ

VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。また、従来のVHS方式での録画・再生も行えます。

i.LINK

i.LINK端子を持つ機器間で、映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。DV-DH1000D/500Dでは、i.LINK端子に他のD-VHSビデオデッキやハードディスクレコーダー、日立ハイビジョンテレビを接続して、デジタル放送の録画やデータの中継、本機からi.LINK対応機器の操作などを行うことができます。
※i.LINKはソニー株式会社の商標です。

S 端子（S 映像端子）

映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、映像をより鮮明に映すことができます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応しているため、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて、信号を出力することができます。
S1映像信号は、4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。
S2映像信号はS1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映します。

525i(480i),525p(480p), 1125i(1080i),750p(720p)

放送される映像信号の走査線数、有効走査線数と走査方式の略称です。

1125i：走査線数1125本（有効走査線数1080本）、
　　　飛び越し走査方式（インターレース）
525p ：走査線数525本（有効走査線数480本）、
　　　順次走査方式（プログレッシブ）
525i ：走査線数525本（有効走査線数480本）、
　　　飛び越し走査方式（インターレース）
750p ：走査線数750本（有効走査線数720本）、
　　　順次走査方式（プログレッシブ）

これらの中で、1125iと750pをデジタルハイビジョン放送と呼びます。また、別の呼称として以下のように表示することがあります。

・HD（High Definition）
・SD（Standard Definition）

※ D端子との関係

	D1	D2	D3	D4
525i	○	○	○	○
525p	×	○	○	○
1125i	×	×	○	○
750p	×	×	×	○

索引

付録

や

ら

わ

アルファベット

数字

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

受付時間　365日／9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについての
ご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

受付時間　9：00～17：30（月～土）
9：00～17：00（日、祝日）

携帯電話、PHSからもご利用できます。

年始年末は休ませていただきます。

最新の商品情報などを掲載しています。
ぜひ日立のホームページをご覧ください。

http://av.hitachi.co.jp/

保証とアフターサービス（必ずご覧ください）

修理を依頼されるときは（出張修理）

「故障かな？」に従って調べていただき、異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載されたお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ハイビジョンHDD/DVDレコーダー
形名	DV-DH1000D DV-DH500D DV-DH250D DV-DH160D
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	※付近の目印なども あわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	

修理料金のしくみ

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
ハイビジョンHDD/DVDレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（録画内容などの補償）の責については、ご容赦ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のハイビジョンHDD/DVDレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 本体やテレビ画面の表示が出ない
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　　月　　日	形名	DV-DH1000D、DV-DH500D DV-DH250D、DV-DH160D
販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　　）　－

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

株式会社 日立製作所

〒244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

QR66982 © Hitachi, Ltd. 2006　　Printed in Japan OR-R（I）